

IV 委員会活動報告

1. 管理部門

A：大学管理・運営

(1) 全学協議会（構成員 教員14名、事務局3名 計17名）

学長、副学長、研究科長、各学部長・学科長、事務局長、事務局次長、学生センター長を構成委員とする全学協議会は、最高意志決定権者である学長の下に置かれ、全学的・学部横断的な課題・事項に関する審議・決定と、報告事項の適切かつ適確な周知による各種情報の全学的共有化と、本学における教学マネジメントの統括を主要な任務としている。

2020年度もまた、上記の趣旨を踏まえ、事前に開催された学長、副学長、研究科長、各学部長、事務局長、事務局次長を構成員とする全学運営会議において確認、整理された協議事項について慎重に審議し決定すること及び、報告事項についても確認の上全学的に周知することについて、それぞれ遅滞なく努めた。また、教学マネジメントに関しては、通常、全学運営会議の前に開催される内部質保証室関連会議（自己点検・評価委員会、FD・SD委員会、IR委員会）で審議・決定事項及び報告事項などについてあらためて報告・確認し、全学的に周知を図るべく努めた。また、各種アンケートの実施状況と分析結果を管理・総括し授業改善並びに教学改革に結び付けるべく、全学教務委員会などと連携して取り組んだ。

以下、「1)委員会開催」として、年間を通じた各回の会議において審議・承認された事項及び主たる報告事項を、さらに「2)事業・活動」として、①全学的組織の改廃及び学部横断の人事に関する審議と決定、②学則及び各種規程の審議・了承、③教学マネジメントに関する事項の検討・決定、④入試に関連する事項の検討・決定、⑤その他、の5点にまとめ今年度の活動状況を概述する。

1) 協議会開催

第1回 4月22日(水)15:00～17:00 欠席者 なし

【審議事項】

- ①研究倫理委員会規程の改正について(木藤研究倫理委員会担当)審議・了承
- ②2021年度入試関連事項について(山田全学入試・広報委員長)審議・承認
- ③人権委員会相談員の委嘱について(住吉学長)審議・承認
- ④2020年度公務員試験対策総合講座の運営について(等々力副学長(浜崎担当代理))審議・承認
- ⑤2020年度委員会構成の修正について(住吉学長)審議・承認
- ⑥「教育企画」のテーマ募集と報告について(等々力FD・SD委員長)審議・承認

【報告事項】

- ①新型コロナウイルス感染拡大への対応について(住吉対策本部長)
- ②科研費の採択状況について(木藤研究推進委員長)
- ③教員の「自己評価シート」の回収状況について(住吉学長)
- ④内部質保証室関連(等々力各委員長)

a)FD・SD研修会のテーマ募集と開催について

b)IRのテーマ申請状況について

他5件

第2回 5月27日(水)17:00～19:30 欠席者 なし

【審議事項】

- ①新型コロナウイルス感染症対策関連事項
 - a)遠隔授業の単位認定について(住吉本部長)審議・承認
 - b)「学内入構許可申請書(案)」について(浜崎情報センター運営委員会担当)審議・承認

- c) 遠隔授業環境が整わない学生の入構ルールについて(浜崎情報センター運営委員会担当) 審議・承認
- d) 課外活動の再開について(増尾全学学生委員会担当) 審議・承認
- ②2020年度前期末授業アンケート調査について(等々力FD・SD委員長) 審議・承認

【報告事項】

- ①遠隔授業の実施状況について(浜崎情報センター運営委員会担当)
- ②学生のネット環境に関するアンケート調査結果について(浜崎情報センター運営委員会担当)
- ③教科書の販売・発送業務について(等々力担当)
- ④総合型選抜と学校推薦型選抜の実施内容について(山田全学入試・広報委員長) 他6件

第3回 6月24日(水)17:00~19:10 欠席者 なし

【審議事項】

- ①新型コロナウイルス感染症対策関連事項
 - a) 対面形式による前期試験実施について(住吉学長) 審議・承認
 - b) 後期の授業実施形態について(住吉学長、浜崎全学教務委員会担当) 審議・承認
- ②松本大学図書館情報機器利用規程の改正について(浜崎図書館運営委員会担当) 審議・了承
- ③私立大学等改革総合支援事業への対応
 - a) アンケートの担当部署並びに授業アンケートの提出率について(等々力FD・SD委員長) 審議・承認
 - b) FD・SD研修会の実施と出席率の向上について(等々力FD・SD委員長) 審議・承認
 - c) 教育サポート・スタッフ研修会の実施について(柴田事務局長)
- ④各種委員会・センター会議規程の整備について(等々力副学長) 審議・了承
- ⑤COC⁺の協定終了について(増尾副学長) 審議・承認

【報告事項】

- ①新型コロナウイルス感染症対策関連事項
 - (1) 松本大学オンライン授業環境整備支援金の給付について(柴田事務局長)
 - (2) オンライン授業及び対面授業の実施状況について(住吉学長)
 - (3) 学生募集活動について(山田全学入試・広報委員長)
- ②大学院の課程変更並びに設置申請の現状について(山田研究科長、増尾学部長、柴田事務局長)
- ③教育学部の指定校推薦評定値の変更について(山田全学入試・広報委員長)
- ④来年度からのGPAの利用について(柴田事務局長)
 - (1) 就職活動時の成績証明書への記載
 - (2) 国からの補助金申請採否の判断基準等 他6件

第4回 7月22日(水)17:00~19:30 欠席者 なし

【審議事項】

- ①全学就職委員長の交代について(住吉学長) 審議・承認
- ②各種委員会・センター規程の改正について(等々力副学長) 審議・一部条件付き了承
- ③私立大学等改革総合支援事業への対応
 - (1) 学部・学科横断型教育システムの構築について(住吉学長) 審議・承認
 - (2) 履修証明プログラムの策定について(赤羽教務課長) 審議・承認
 - (3) 入学試験に係る事項について(山田全学入試・広報委員長) 審議・承認
- ④今後のアンケート調査(新規分)実施計画について(等々力FD・SD委員長) 審議・承認
 - (1) 卒業生(4・5年目)アンケート(大学)(2020年8月予定)
 - (2) 企業向け内定者(2020年度)アンケート(2020年12月予定)
- ⑤コロナ禍における地域連携活動の基本方針について(白戸地域連携委員長) 審議・承認
- ⑥池の平ホテル&リゾートとの連携協定締結について(根本地域健康支援ステーション運営委員長) 審議・承認

【報告事項】

①学園各部門における情報セキュリティインシデント対応要領について(田中情報センター課長)

②新型コロナウイルス感染症対策関連事項

a)オンライン授業及び対面授業の実施状況について(浜崎全学教務委員会担当)

b)学生募集活動及び教員対象説明会について(山田全学入試・広報委員長)

c)学生給付金等の申込み状況及び学生支援緊急給付金について(増尾全学学生委員会担当)

③前期末試験及び夏季休業中の予定並びに後期日程の学生への周知について(浜崎全学教務委員会担当)

④大学入学共通テストの内容変更について(山田全学入試・広報委員長)

⑤外部評価委員会の開催及び自己点検・評価報告書の進捗状況について(等々力副学長)

他5件

第5回 9月23日(水)15:00~18:15 欠席者 なし

【審議事項】

①「健康日記」アプリの個人情報保護の扱いについて(浜崎情報センター運営委員会担当) 審議・承認

②教職員の人事について(住吉学長、増尾学部長、浜崎短期大学部長) 審議・了承

③地域防災教育センター研究所(地域防災研究所)(仮称)設置について(増尾地域防災対策委員会担当) 審議・承認

④総合経営研究科(仮称)の申請について(増尾学部長) 審議・承認

⑤委員会・センター規程の制定及び改正について(等々力副学長) 審議・了承

⑥分野横断型教育システムの構築について(住吉学長) 審議・承認

⑦2020年度前期授業アンケート結果及び今後の対応について(等々力FD・SD委員長) 審議・承認

⑧2020年度卒業生アンケート及び進路先アンケート結果の分析と本学ホームページへの掲載について(上條IR推進委員、等々力FD・SD委員長) 審議・承認

⑨2020年度外部評価委員の評価報告を受けての対応並びに、それを踏まえた来年度のカリキュラム編成について(柴田事務局長、浜崎全学教務委員会担当、等々力FD・SD委員長) 審議・承認

⑩長野銀行との連携協定締結について(柴田事務局長) 審議・承認

【報告事項】

①新学長の着任に当たって(柴田事務局長)

②教職員の人事について(住吉学長、各学部長、柴田事務局長)

③2020年度(前期分)学長賞表彰者について(住吉学長)

④大学院の設置申請状況について(住吉学長、山田研究科長、柴田事務局長)

⑤2021年度入試関連事項について(山田全学入試・広報委員長) 審議・承認

⑥学園での第2次中期目標・計画の期間統一について(柴田事務局長)

他9件

第6回 10月28日(水)17:20~119:10 欠席者 なし

【審議事項】

①菅谷学長の新型コロナウイルス感染症対策本部長就任について(等々力副本部長) 審議・承認

②諸規程の制定並びに改正について(等々力副学長、山田研究科長) 審議・了承

③嘱託専任教員の課外活動顧問就任について(増尾全学学生委員会担当) 審議・承認

④「第2次中期目標・計画」の改訂について(柴田事務局長) 審議・承認

⑤「分野横断(文理融合)履修コース」構築の具体的な取り組みについて(等々力副学長) 審議・承認

⑥2021年度4月以降の交換留学生受入れについて(浜崎国際交流センター運営委員会担当) 審議・承認

⑦第2回FD・SD研修会(7/29)を踏まえた授業及び教育課程の検討と改革・改善への取り組みについて(等々力副学長) 審議・承認

⑧学生ポータルサイトでの成績管理とフィードバックについて(浜崎全学教務委員会担当) 審議・承認

⑨2020年度前期の成績評価結果について(浜崎全学教務委員会担当) 審議・承認

⑩長野銀行との連携協定について(柴田事務局長) 審議・承認

⑪山形村との連携協定について(白戸地域連携委員長) 審議・承認

⑫松本市選挙管理委員会からの申し入れについて(柴田事務局長) 審議・承認

⑬新しい「学びの指標」(案)に関する意見交換会(11/28(土))の開催について(浜崎学部長) 審議・承認

【報告事項】

- ①次年度の人事について(菅谷学長、柴田事務局長)
- ②健康科学研究科博士課程への課程変更認可及びそれに伴う人事について(山田大学院設置準備委員長)
- ③健康科学研究科博士前期課程での教職課程認定について(山田大学院設置準備委員長)
- ④「総合経営研究科(仮称)」の設置申請に係る準備状況について(増尾学部長)
- ⑤2020年度前期(1・2学期)授業アンケートに関するティーチング・ポートフォリオの作成(記入)について(依頼)(等々力FD・SD委員長)
- ⑥2020年度卒業生アンケート及び進路先アンケートの結果分析と本学ホームページへの掲載について(等々力FD・SD委員長)
- ⑦2020年度後期授業アンケートの対象科目(ゼミなど)の確認について(等々力FD・SD委員長) 他10件

第7回 11月25日(水)17:00~18:20 欠席者：岸田

【審議事項】

- ①2020年度学位授与式について(松尾事務局次長) 審議・承認
- ②「第2次中期目標・計画」への追記事項について(柴田事務局長) 審議・承認
- ③「松本大学・松本大学松商短期大学部規程等体系変更案」について(赤羽事務局次長) 審議・了承
- ④2021年度の施設貸出について(松尾事務局次長) 審議・承認

【報告事項】

- ①地域づくり考房『ゆめ』の後任人事について(柴田事務局長)
- ②入試判定会議の学長承認について(山田全学入試・広報委員長)
- ③総合型選抜入試及び学校推薦型入試の実施結果について(山田全学入試・広報委員長、坂内入試・広報室長)
- ④アルピコ交通による松本駅⇄大学間のバスの運行について(菅谷学長、柴田事務局長)
- ⑤ドミニカ共和国からの留学生(ヘミルセさん)について(柴田事務局長) 他8件

第8回 12月25日(金)17:00~18:30 欠席者：川島、山添

【審議事項】

- ①来年度人事について
 - (1)教育学部教職センター専門員の体制強化について(山崎全学教職センター長) 審議・承認
 - (2)70歳を超えた非常勤講師の採用について(岸田学科長) 審議・了承
 - (3)人間健康学部健康栄養学科助手の採用人事について(木藤学部長) 審議・了承
- ②諸規程の変更、改正、廃止について(等々力副学長) 審議・了承
- ③2021年度年間予定表について(等々力副学長) 審議・承認
- ④新型コロナウイルス感染症に係る一斉休校中の対応について(等々力副本部長) 審議・承認
- ⑤「第2次 中期目標・計画」におけるKPIの設定について(柴田事務局長) 審議・承認
- ⑥アルピコ交通による代行バス利用状況と今後について(菅谷学長、柴田事務局長) 審議・承認
- ⑦2022年度認証評価受審の体制と進め方について(等々力副学長) 審議・承認

【報告事項】

- ①次期学部長(候補者)・学科長(候補者)について(木藤学部長、川島学部長)
- ②総合型選抜及び学校推薦型選抜の入試結果と一般選抜・共通テスト利用選抜の志願者傾向分析について
- ③理事会及び評議員会(11/26)と大学委員会(12/17)について(柴田事務局長)
- ④総合経営研究科の設置認可申請業務の進捗状況について(増尾設置準備委員長)
- ⑤学長の講義を受けた学生からの要望(直接話がしたい等)について(等々力副学長)
- ⑥2021年度のIRのテーマについて(等々力IR委員長)
 - (1)教育学部一期生のデータ分析(担当：岸田学校教育学科長、上條IR委員)

(2)松商高校からの進学生のデータ分析(担当：山田全学入試・広報委員長、宮坂IR委員) 他5件
 第9回 1月27日(水)17:00~18:30 欠席者：岸田

【審議事項】

- ①地域防災科学研究所設置具体案について(増尾副学長、柴田事務局長)審議・承認
- ②大学院履修規程の改定について(山田研究科長)審議・了承
- ③2021年度の委員会構成案について(等々力副学長)審議・承認
- ④2020年度学位授与式(3月12日(金))における保護者の出席について(松尾事務局次長)審議・承認
- ⑤2021年度入学式(4月2日(金))の実施方法について(等々力副学長)審議・承認
- ⑥2021年度前期授業の実施方法について(浜崎全学教務委員会担当)審議・承認
- ⑦男子サッカー部専属コーチの増員について(増尾全学学生委員会担当)審議・承認

【報告事項】

- ①一般選抜A及び共通テストの出願状況について(山田全学入試・広報委員長、坂内入試・広報室長)
- ②総合経営研究科の設置認可申請業務の進捗状況について(増尾設置準備委員長)
- ③「2020年度 教育職員評価」の実施について(等々力副学長)
- ④2021年度事業計画並びに2020年度事業報告の執筆について(柴田事務局長)
- ⑤長野県の新型コロナウイルス感染症感染警戒レベル引き上げに伴う措置について(等々力副本部長)

他7件

第10回 2月24日(水)17:20~18:30 欠席者なし

【審議事項】

- ①男子サッカー部専属コーチの採用について(増尾全学学生委員会担当)審議・了承
- ②地域健康支援ステーション専門員の採用について(増尾地域連携委員会担当)審議・了承
- ③第2次中期計画及び2021年度事業計画について(柴田事務局長)審議・承認
- ④障害のある学生に対する支援体制の整備充実について(菅谷学長)審議・承認
- ⑤健康栄養学科4年生の管理栄養士国家試験受験に対する卒業証明書の特別措置について(赤羽事務局次長)審議・承認
- ⑥基礎教育センター・教職センター専門員の非常勤講師について(浜崎全学教務委員会担当)審議・承認
- ⑦公務員試験対策講座及び2020年度公務員試験合格実績について(浜崎全学教務委員会担当)審議・承認
- ⑧施設利用満足度アンケートについて(増尾全学学生委員会担当)審議・承認
- ⑨名義後援及びロゴの使用について(山田研究科長、木藤学部長)審議・承認
- ⑩新型コロナウイルス感染症対策本部における4月からの授業形態の決定方法について(等々力副本部長)審議・承認
- ⑪2020年度の『アニュアル・レポート』及び『自己点検・評価報告書』の執筆について(等々力自己点検・評価委員長)審議・承認
- ⑫アルピコ交通株式会社との連携協定について(柴田事務局長)審議・承認

【報告事項】

- ①来年度人事について(木藤学部長、川島学部長、浜崎短期大学部長)
- ②一般選抜A・共通I期合格者の入学手続きの状況について(山田全学入試・広報委員長)
- ③令和2年度「私立大学等改革総合支援事業」の選定結果について(柴田事務局長)
- ④全学教職センター運営委員会報告事項について(川島全学教職センター運営委員会担当)
- ⑤強化部・重点部の現状と課題について(増尾全学学生委員会担当)

他3件

第11回 3月24日(水)15:25~16:25 欠席者なし

【審議事項】

- ①2021年度からの特別任用教授及び客員教授の任・採用について(菅谷学長、柴田事務局長)審議・承認
- ②地域健康支援ステーション専門員の後任人事について(増尾地域連携委員会担当)審議・承認
- ③松本大学受験料減免規程の廃止及び松本大学松商短期大学部受験料減免規程の改正について(山田全学

入試・広報委員長)審議・承認

- ④2021年度委員会構成について(菅谷学長、等々力副学長)審議・承認
- ⑤2021年度年間予定表について(赤羽事務局次長)審議・承認
- ⑥第2次中期計画中の周年事業の扱いについて(柴田事務局長)審議・承認
- ⑦2021年度クラブ・サークルの部長について(増尾全学学生委員会担当)審議・承認
- ⑧2021年度第1回合同教授会議題案について(等々力副学長)審議・承認
- ⑨各種催し物の案内等の周知方法について(等々力副学長)審議・承認

【報告事項】

- ①次期副学長の選任について(菅谷学長)
- ②2020年度学長表彰について(菅谷学長、等々力副学長)
- ③松本大学特別任用教授及び客員教授に関する規程について(柴田事務局長)
- ④研究推進委員会報告について(木藤委員長)
- ⑤一般選抜合格者の手続き状況と入学手続き状況について(山田全学入試・広報委員長)
- ⑥総合経営研究科設置申請業務の進捗状況について(増尾設置準備委員長)
- ⑦後援会役員会(2/27)、大学委員会(3/1)、常任理事会(3/16)について(柴田事務局長)
- ⑧2020年度各種原稿の提出について(等々力副学長)

他5件

2) 事業・活動

①全学的組織の改廃及び学部横断的人事に関する審議と決定

- ・地域健康支援ステーション専門員の採用
- ・男子サッカー部専任コーチの採用
- ・2021年度委員会構成の変更(主要な変更点は下記のとおり)
 - i 委員会名欄に「理事・大学連絡協議会」を追加記載
 - ii 自己点検・評価委員会中のコンプライアンス推進部会をコンプライアンス委員会として独立設置
 - iii 地域防災対策委員会は地域防災科学研究所設置に伴い廃止
 - iv 全学運営会議内の規程整備部会、自己点検・評価委員会内の認証評価準備部会、FD・SD委員会内のFD・SD立案推進部会及び教育企画推進部会の4部会についてそれぞれ親委員会で対応可能なことから廃止
 - v 学部長、学科長の交代による実施責任者、連絡・調整担当者の変更

②学則及び各種規程の審議・了承

- ・研究倫理委員会規程の改正
- ・松本大学図書館情報機器利用規程の一部改正
- ・各種委員会・センター規程の改正に係る共通事項の確認
 - i) 第1条、第2条 趣旨と目的の文言の修正(検討事項)
 - ii) 第1条(趣旨)と第2条(目的)の文言の精査
 - iii) 第3条 管理担当者の職務の明確化(確認事項)
 - iv) 第6条 委員長及び委員の任期(確認事項)
- ・松本大学内部質保証室規程の制定
- ・松本大学コンプライアンス委員会規程の制定
- ・松本大学松商短期大学部外部評価委員会規程の改正
- ・松本大学松商短期大学部入学金免除規程の制定
- ・松本大学入学金免除規程の改正
- ・松本大学理事・大学連絡協議会規程の改正
- ・松本大学大学院入学金免除規程の制定
- ・松本大学大学院特待生規程の改正

- ・松本大学大学院学則の改正
 - ・松本大学学位記規程の改正
 - ・大学院履修規程の改正
 - ・松本大学・松本大学松商短期大学部規程等の体系変更
- ③委員会と委員会内に置かれた部会の廃止(括弧内は従来の親委員会)
- ・地域防災対策委員会(地域連携委員会)→地域防災科学研究所へ
 - ・規程整備部会(全学運営会議)
 - ・認証評価準備部会(自己点検・評価委員会)→認証評価準備WG(仮称)
 - ・コンプライアンス推進部会(自己点検・評価委員会)→コンプライアンス委員会として独立
 - ・FD・SD立案推進部会(FD・SD委員会)
 - ・教育企画推進部会(FD・SD委員会)
- ④教学マネジメントに関する事項
- ・授業アンケートの実施状況と結果の確認
 - ・卒業予定者アンケートの結果と分析報告並びに公表の決定
 - ・過年度卒業生(2年目と4年目)並びに就職先企業(2年目と4年目)に対するアンケートの実施決定
 - ・大学及び短期大学の「2020年度度学習行動調査」及び「2020年度卒業生アンケート(就職先、企業、卒業生)」の結果と分析報告並びに公表の決定
 - ・IRのテーマ決定(教育学部一期生と松商学園高校からの入学生に関するデータ分析)
- ⑤入試に関連する諸事項の検討・決定
- ・入学試験受験料のWeb割引の廃止
 - ・学力特待生資格試験の受験料改定
 - ・総合型選抜のエントリーの条件変更
 - ・外国人留学生選抜の受験資格の変更
 - ・総合型選抜と学校推薦型選抜の実施内容の検討・決定
 - ・学生募集活動の企画・実施
 - ・各種選抜入試の管理・実施並びに判定会議へのデータ提供
- ⑥その他
- ・大学院設置準備
 - ・新型コロナウイルス感染症への緊急対応の決定
 - ・各種申請等の調整
 - ・連携協定の審議・承認と締結の支援
 - ・本学における学会等の開催確認と支援(施設貸し出し)

(2) 全学運営会議(構成員 教員7名、事務局3名 計10名)

学長、副学長、研究科長、各学部長、事務局長、事務局次長を構成員とする全学運営会議は、日常的な大学運営を司るために基本的には週1回会議を開催し、全学的・学部横断的な課題・事項及び報告などについて協議、整理して、月に1回開催される全学協議会に上程、報告することで、その円滑な運営に資することを主要な任務としている。したがって、本会議で取り扱った協議事項並びに報告事項は、ほぼ全てが上記の全学協議会におけるものと重なっている。また、議長は学長が務め、各構成員は、委員会が対象とする業務内容などを考慮して複数の委員会を大括りにした部門、委員会を担当し、それと全学運営会議との連絡・連携を図るとともに、必要に応じて担当する部門、委員会における課題や問題などを全学運営会議に反映させることとしている。そうした使命を遂行するために、2020年度は、通常は火曜日5限に、長期休み中は会議の開始時刻を柔軟に設定し、計46回の会議を持った。

更に、特筆すべきこととして、委員会規程の改廃、条項など形式の統一、文言の修正・統一などに取り組み、改正案を検討・確定して全学協議会に上程し審議承認を得たことで、懸案であった委員会規程の整備に一

区切りを付けることができたことがある。これは、一重に、教務課の赤羽学生センター長と野田教務課主事の努力に負うものであったことを付言しておきたい。なお、規程整備が成ったことを踏まえ、全学運営会議に置かれていた「規程整備部会」については廃止することとした。したがって、今後の規程整備については全学運営会議が所管することになる。

また、昨年度と同じように、「私立大学等改革総合支援事業」への申請対応を目的に臨時の会議を8月末に2日連続で開催し、松本大学はタイプ1及びタイプ3に(短大部は採択なし)採択された。

(3) 内部質保証室 (全学運営会議メンバーと同一)

内部質保証に関連する自己点検・評価、FD・SD、IRの3委員会を統括する「内部質保証室」は、委員会の活動を有機的に関連付け、得られたデータなどを一元的に管理・分析・公表することを通じて教学改革、組織改善、大学運営に資する事を目的に2019年度に設置され、上記の全学運営会議のメンバーを構成員とし、学長が室長としてマネジメントしている。2020年度における本会議の開催状況は審議事項を扱った会議に絞ると以下のとおりであり、その後に各委員会の特徴的な案件についてまとめておくこととする。

第1回 5月19日(火)16:50~17:30 欠席者 なし

FD・SD委員会

- ・前期末の授業アンケートの実施日時の変更について審議・承認

IR委員会

- ・IRテーマの申請について審議・承認

第2回 6月9日(火)16:50~17:00 欠席者 なし

IR委員会

- ・総合経営学部の室谷教授より申請のあったテーマについて審議、研究倫理委員会の承認を得ることを条件に承認

第3回 6月9日(火)16:50~17:00 欠席者 なし

IR委員会

- ・学修行動調査結果及び今後の対応について、各項目の満足度向上に向け、各学部や各学科の特徴を生かし、学生の特性を理解した上で、様々な取り組みについて検討、実施すること、併せて、3ポリシーを周知し理解を得るべく取り組むことなどについて、全学運営会議、全学協議会で議論を進めることが提案、承認された。また、7月29日開催の全学FD・SD研修会において調査結果を取扱い、教職員による教育改善、施設改善計画等に役立てることを確認した。

第4回 10月13日(火)16:50~17:15 欠席者 なし

自己点検・評価委員会

- ・LMS導入に伴うFD研修会の開催について

FD研修会の開催について、ICTを活用した教育内容の改善を目的とした内容とし、整備されてきているLMSの研修に充てたいとの提案がなされ、審議の結果、開催日程については今後調整のうえ決定することとし承認された。

FD・SD委員会

- ・2021年度教育企画のテーマ募集について審議・承認
- ・2020年度後期授業アンケートの質問項目の修正並びに実施対象科目の確認について審議・承認

第5回 12月15日(火)16:50~17:30 欠席者 なし

FD・SD委員会

- ・本年7月21日に開催された「2020年度 第4回全学協議会」で、卒業生・企業対象アンケート共に新たに卒業2年目と4年目にも実施する旨承認されていることが説明され、それとの関係で今年度の卒業時アンケートの内容を見直すことが提案され、審議の結果、軽微な修正であれば担当者に一任すること、また、大幅な修正であれば本委員会に諮ることを確認した上で承認された。

IR委員会

- ・2021年度のIRテーマについて、完成年度を迎えた教育学部1期生を対象に、①入試形態を中心に入学から卒業までの一連のデータ分析を行うこと、②データ等内容の詳細については今後検討すること、③担当は岸田学科長と上條内部質保証室員(IR担当)に依頼することの3点を確認し、承認された。

第6回 12月22日(火)17:00~17:30 欠席者：赤羽(雄)、赤羽(紀)

FD・SD委員会

- ・前回の本会議で指摘のあった教職センターを対象項目に入れることについて審議・承認

IR委員会

- ・2021年度のIRテーマについて、前回のものに加え、松商学園高校から本学に進学した学生を対象に入試から就職までの諸データを収集・解析し、今後の入試対策及び学修支援などに役立てることとしたとの提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。併せて、担当を、山田全学入試・広報委員長と宮坂内部質保証室員(IR担当)とすることを確認した。

第7回 1月12日(火)16:50~17:00 欠席者：浜崎

自己点検・評価委員会

- ・2022年度に第三者認証評価受審を控えていることから、『2020年度自己点検・評価報告書』については、各委員会において「PDCAサイクル」を意識した内容で執筆することの提案がなされ、特に異議なく承認された。

第8回 1月19日(火)16:50~17:15 欠席者 なし

FD・SD委員会

- ・2021年度の教育企画推進経費案について内容及び経費を検討・審議した結果、学校教育学科より申請のあった「国内外留学推進」を除き、委員長案を承認した。

IR委員会

- ・2月2日開催予定の全学運営会議の冒頭において、2020年度のIRテーマとして取り組まれた総合経営学部の室谷教授の「総合経営学科2019年度新生に対する基礎学力e-learningシステムの学習効果」(『教育総合研究』第4号)に掲載)について、担当者である室谷教授、上條IR委員より報告を行いたいとの提案があり、異議なく承認された。

第9回 1月26日(火)16:50~17:15 欠席者 なし

FD・SD委員会

- ・今年度から実施予定の「施設利用満足度アンケート原案」について説明、提案がなされ、指摘された事項を中心に再度検討し、提案することを確認した。

第10回 2月2日(火)16:50~17:25 欠席者 なし

FD・SD委員会

- ・2020年度後期授業アンケート集計結果(含む過去3年分)について報告がなされ、回答率が例年に比べ著しく悪かったことが報告された。それを受け、回答率を向上させるための方策について、今後、検討を行いたいとの提案がなされ、承認された。

IR委員会

- ・2020年度のIRテーマである「総合経営学科2019年度新生に対する基礎学力e-learningシステムの学修効果」について、担当の室谷教授より、教育総合研究第4号(2020年11月発刊)の掲載資料に基づいて報告がなされ、討議がなされた。

第11回 2月9日(火)16:50~17:10 欠席者 なし

FD・SD委員会

- ・施設利用満足度アンケート(修正案)について、増尾全学学生委員会担当より、前回の本委員会での審議結果を踏まえて、自由記入欄を加えた修正案について提案がなされた。この中で、今後に予定されている第三者評価受審に向け、ICT活用やコロナ禍対応に関する学内通信環境(Wi-Fi設備)に関する設問を加えることについて提案がなされ、異議なく承認された。これらの意見を取りまとめ、2月24日開催の全学協議会において決定、承認を得ることとした。

1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、その中に「認証評価準備部会」と「コンプライアンス推進部会」が置かれていることから分かるように、2022年度受審予定の認証評価対応並びに、学内における法令遵守の徹底を図り行動規範遵守の意識醸成などに取り組むことなども任務対象としている。さらに、『アニュアル・レポート(地域総合研究Part2)』『自己点検・評価報告書』『学生版アニュアル・レポート』の編集・発行も担当しており、2019年度版については、『自己点検・評価報告書』が7月に発行できたのをはじめ、『アニュアル・レポート』が1月、『学生版アニュアル・レポート』3月と年度内に発行することができた。また、昨年度から始まった教員評価の取り組みについても、各教員自身による自己評価が第一次評価者の研究科長・各学部長に提出された後、第二次評価者の学長に提出され、それぞれの段階で評価を受けている。

なお、本委員会には2つの部会が設置されているものの、構成員が重複していることなどから個別に開催するのではなく、次のとおり、関連する事項についても審議し決定してきた。

まず、認証評価に関しては、全学協議会を「教学マネジメント」を司る組織と位置づけた昨年度の確認を受け、今年度もまた、全学運営会議メンバー中の全学教務委員会担当者を通じて全学的な教学関係課題・事項を的確・適切に把握し、教学マネジメントを実効あらしめるべく努めた。付言すれば、そこでの審議・決定が、今年度もまた、「私立大学等改革総合支援事業」のポイント向上に繋がったことは間違いないと判断している。

次に、コンプライアンスに関しては、前年度と同様、4月1日の年度初めに開催された合同教授会において、「研究活動における不正行為への対応に関する規程」、「公的研究費の管理・監査のガイドライン」を配付し、本規程と本ガイドラインを遵守する旨の誓約書が全教員から提出されている。以上は定例化されたものであるが、形式に墮することのないよう、e-learningの実施や書籍の配布などをもっていっそうの徹底に努めた。

なお、上記の2つの部会については、次のような理由から、いずれも今年度をもって廃止することとした。「認証評価準備部会」は、受審準備に向けた実務組織として「認証評価準備WG(仮称)」を別途立ち上げたため、また、「コンプライアンス推進部会」は、法人のコンプライアンス規程に基づいてコンプライアンス委員会を設置したためである。

2) FD・SD委員会

FD・SD委員会は、その中に「FD・SD立案推進部会」と「教育企画推進部会」の2部会を擁しており、これもまた、2018年度から全学運営会議メンバーを委員として、FD・SD研修会の企画・立案、実施を主管するとともに、学部・学科を単位とする教育改革に資する「教育企画推進」をも担当した。前者は、アンケートの実施部署を確定することができたことからFD・SD委員会が所管することとした。なお、各アンケートの実施担当部署は、授業アンケート、卒業時アンケート及び学修行動調査は教務課が、卒業生アンケート及び企業アンケートはキャリアセンターが、施設利用満足度調査は学生課が、それぞれ担当することが確認されているので付言しておきたい。

更に、来年度より、懸案であった卒業後アンケートを卒業2年目と4年目の卒業生と、その就職先企業を対象に実施することを企画、提案し、全学協議会で承認された。また、施設利用満足度調査についても、学生課を中心に検討され、同じく全学協議会の承認を経て、今年度末に実施した。

このように、本委員会は、授業アンケート及び学修行動調査など各種アンケート・調査についても主管しており、2020年度もまた、それらを滞りなく実施し、2020年度卒業時アンケート及び学修行動調査の結果については、FD・SD研修会で取り上げ、全体的な傾向と同時に個別に指摘された事項についても、参加した教職員に紹介し、対応策の検討依頼などをした。

なお、今年度実施された卒業時アンケート及び授業アンケートの回答率は下記のとおりである。

・卒業時アンケート(2021年2月4日実施)

学科名	卒業予定者	回答者	回答率
総合経営学科	78	71	91.0%
観光ホスピタリティ学科	73	66	90.4%
健康栄養学科	72	69	95.8%

スポーツ健康学科	95	84	88.4%
学校教育学科	52	50	96.2%
(大学計)	370	340	91.9%
短期大学部	198	184	92.9%
・授業アンケート	実施科目数	回答率70%未満科目数	平均回答率
(2020年度前期)			
短大部1学期末	53	14	78.9%
短大部2学期末	51	7	84.0%
大学期末	382	87	81.2%
(2020年度後期)			
短大部3学期中間	50	17	71.9%
短大部3学期末	50	16	73.8%
短大部4学期中間	50	27	67.4%
短大部4学期末	50	13	78.6%
大学 中間	381	266	55.1%
大学 期末	381	236	63.8%

なお、上記のように、後期の授業アンケートの平均回答率が、80%を超えることが通例であった従来に比べ伸びず、とりわけ大学の数値の低さが際立つものとなった。その原因としては、調査時期が、オンライン授業と重なったこと、また、教員の側にも周知が徹底できなかったことなどが考えられる。この点については、あらためて学生・教員双方にアンケートの必要性についての周知を図り、着実に実施すべく取り組みねばならない。

教育企画については、2020年度、以下のように9件の申請があり、費用の査定を経て実施に移され、報告文書が本レポートに掲載されている(予算執行率は2021年3月9日現在のもの)。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大によって、下記※印の3企画は実施されなかった。

2020年度 教育企画一覧

学科名等	申請テーマ	予算額・ 予算執行率	責任者
総合経営	e-learning systemを使った基礎学力の向上とweb採用テストへの対応	900,000円 103.6%	室谷
観光 ホスピタリティ	防災士の育成	210,000円 73.4%	増尾
	本学科における主要資格(総合旅行取扱・社会福祉士・社会教育士・防災士)取得強化策の取り組み	330,000円 38.6%	白戸
健康栄養	管理栄養士国家試験受験支援	820,000円 80.5%	弘田
	※講演会開催	100,000円 0.0%	高木
	※健康栄養学科3年生授業関連企画「おいでよ♪松大健康教室」の開催	260,000円 0.0%	廣田
スポーツ健康	大学入門ゼミナールでの学習手法の習得と学習時間の獲得	700,000円 102.5%	根本
学校教育	※国内・国外留学の推進(留学への動機づけと、海外留学)	1,000,000円 0.0%	和田

短期大学部	オリジナルテキスト作成	308,000円 100.0%	山添
全体	9件	%	9名

FD・SDについては、今年度は、下記のように4度の研修会が持たれ、出欠をチェックした上で、年度末の教員の自己評価にも生かされた。

2020年度 FD・SD研修会一覧

実施日	種 類	研修テーマ	講 師	参加数
4/2	FD・SD	遠隔授業講習会 —office365 Teamsの操作方法と遠隔授業の実施準備—	浜崎 央 田中 雅俊 山田 裕樹 町田 健	111名
7/29	FD・SD	調査結果などから見える学生の特徴 —学修行動調査・卒業時アンケート—	等々力賢治 浜崎 央 上條 直哉	129名
9/30	FD・SD	松本大学の「これまで」の歩みと「これから」を担う皆さんに	住吉 廣行	136名
2/22	FD	新たな学修管理システムの活用方法について	赤羽 研太 伊藤 健 日本データパシフィック(株) 平 氏	88名

3) IR委員会

現在、一般選抜や大学入学共通テスト利用選抜を利用しての受験者数が大きく伸びているだけでなく、受験者層も大きく変化してきており、こうした状況にフィットする学生募集方法、入学者層の変化に伴う学修スタイルの創造など新たな対応が求められている。どの学科でも、入学試験時の成績や入学後の成績、あるいは卒業後の進路など、大学生生活の全てのステージを通じた分析が必要であり、その理解を深めるためのIR活動が重要だと認識している。そうした中で具体的なリサーチには至っていないが、その前段階としてのデータ収集などに着手し始めた。

2020年度のIR活動及びその成果として、既述のように、「総合経営学科2019年度新入生に対する基礎学力e-learningシステムの学修効果」について、担当の室谷教授より、教育総合研究第4号(2020年11月発刊)の掲載資料に基づいて報告され、討議がなされた。

また、2021年度のIRのテーマについて、同じく既述のように以下の2件とした。①完成年度を迎えた教育学部1期生を対象に、選抜区分を中心とした入学から卒業までの一連のデータ分析の実施(詳細の内容については今後検討、担当：岸田学校教育学科長、上條内部質保証室員(IR担当))、②今後の入試対策及び学修支援などに役立つための、松商学園高校から本学に入学した学生を対象とした入試から就職までの諸データの収集・解析(担当：山田全学入試・広報委員長、宮坂内部質保証室員(IR担当))

4) 競争的資金申請推進委員会

本委員会は、2018年度より研究推進管理部門の中に位置づけられていた競争的資金事業推進委員会を、競争的資金の新規申請事業の動向把握及び申請手続きなどを執り行う部署として位置づけ、本年度からは内部質保証室の一部所として設置された。

この趣旨に則って関連する情報収集に努めたものの、今年度については、適合的なものを見出すには至らなかった。

B：保険・衛生

(1) 健康安全センター運営委員会

1) 学生の健康管理

①学生健康診断

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、例年4月に一斉に実施していた学生健康診断を全学生対象の「WEB問診」「尿検査」と1年生対象の「胸部レントゲン検査」に変更して実施した。

11月22日～12月7日 WEB問診 回答者数 1,822名

11月9日～13日 学生尿検査 1,571名

10月26日・27日 胸部レントゲン検査 332名

11月25日・26日 胸部レントゲン検査 241名

胸部レントゲン検査 要精密検査該当学生保健指導(1名)

②学校感染症抗体検査

4月2日：167名

結果返却・事後指導

③保健師対応

4月1日～3月31日 学生利用 実人数127名／延べ人数70名

急病・外傷などの応急手当、心身の健康相談など

医療機関移送 1件(健康安全センター)

※保護者相談対応 実人数5名／延べ人数3名

※来学者(入試・オープンキャンパスなど)対応 実人数0名／述べ人数0名

④カウンセラー対応

4月1日～3月31日 学生利用 実人数9名／延べ人数21名

2) 学生への健康教育

6月5日 健康栄養学科1年生 基礎ゼミナール「大学生のメンタルヘルス」

6月13日 硬式野球部「部活動および寮生活での感染予防」

6月15日 女子ソフトボール部「部活動および寮生活での感染予防」

10月～11月各学部 「新型コロナウイルス注意喚起」

1月22日 健康栄養学科1年生 基礎ゼミナール「医療機関における他職種連携」

3) 救護対応

11月7日 短期大学部 総合型選抜Ⅰ期

11月14日 学部 総合型選抜

11月21日 学部 学校推薦型選抜前期

11月22日 短期大学部 学校推薦型選抜前期

12月12日 短期大学部 学校推薦型選抜後期・総合型選抜Ⅱ期

12月13日 学部 学校推薦型選抜後期

1月16日・17日 大学入試共通テスト

2月6日 学部・短期大学部 一般選抜A

2月7日 学部 一般選抜A

2月25日 学部 一般選抜B

3月10日 短期大学部 一般選抜B

3月11日 学部 一般選抜C

3月23日 短期大学部 一般選抜C・総合型選抜Ⅲ期

4) 安全な学習・就業環境の整備

- ① AED(自動体外式徐細動器)の整備
 - a) 日常点検の徹底
 - b) 消耗品等適宜整備
- ② 救急箱の整備・貸し出し
4月1日～3月31日 貸し出し実績 3件

5) 感染症対応

- ① 新型コロナウイルス感染症対応
 - 4月4日 集団感染疑い事例 医療機関搬送対応
 - 12月30日 新型コロナウイルス感染者確認
保健所との連絡、積極的疫学調査協力、濃厚接触者の学生対応
学内消毒、学生・教職員への周知 他
 - 4月1日～3月31日
体調不良、濃厚接触による登校禁止等対応 130名
- ② インフルエンザ対応
 - a) 学内感染者の把握・情報収集
4月1日～3月31日 インフルエンザ感染報告・登校及び出勤禁止措置
学生0件
教職員0件
- ③ 感染拡大防止対策
 - a) インフルエンザ予防接種の実施
11月20日 教職員139名
学生79名(強化部員)

6) 学生寮の衛生管理

- ① 松球寮(硬式野球部)、あずさ寮(女子ソフトボール部)の厨房における食中毒原因菌のテスト結果管理
- ② あずさ寮調理員の検便管理
- ③ 松球寮、あずさ寮の寮食メニューのチェック及びアドバイス

7) 心肺蘇生法啓蒙活動

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施を見送った。

8) 学会・研修

なし

9) 全国大学保健管理協会

2013年4月1日～ 全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会保健看護分科会 運営委員に保健師が就任。

- 9月18日 運営委員会(ZOOM)
- 3月17日 運営委員会(ZOOM)

10) 会議

長野県内の大学保健管理施設を担当する保健師・看護師の情報交換・知識技術の向上・研修等を連携して行うことを目的に「長野県大学保健管理施設担当者会議」を設立した。

8月28日 第6回担当者会議(ZOOM)

2月19日 第7回担当者会議(ZOOM)

(2) 衛生委員会

2020年度においては、主として次のような取り組みを行った。

1) ストレスチェックの実施

実施者：松本大学 産業医・保健師

実施期間：10月6日～10月16日

対象者：200名

受検者：195名(受検率 97.5%)

実施の結果、高ストレスと判定された教職員について、保健師面談・臨床心理士カウンセリング・産業医面談勧奨等のフォローを実施した。

2) 教職員の健康管理

①健康診断

※今年度より学内での実施回数を2回に増やして対応した。

5月27日 教職員定期健康診断(松本大学)48名

6月10日 教職員定期健康診断(松本大学)52名

6月～3月 教職員健康診断(医師会医療センター)8名

※胃検診は受診人数減少のため、今年度より松本市医師会医療センターで個別実施とした。

1月～2月 教職員胃検診(松本市医師会医療センター)7名

4月～3月 人間ドック 受診者73名

健康診断・胃検診・人間ドック受診者に対し、結果の説明、保健指導を実施した。

②保健師対応

4月1日～3月31日 実人数：85名／延べ人数36名

急病・外傷などの応急手当、心身の健康相談、学生対応に関する相談など

救急搬送1件、医療機関移送2件(健康安全センター)

③カウンセラー対応

4月1日～3月31日 実人数3名／延べ人数3名

学生に関する相談 など

3) インフルエンザ予防接種

学内で接種を受ける教職員に対し、1,500円(50%)の補助を実施。

11月11日実施 139名

4) 新型コロナウイルス感染予防、感染拡大防止対応

教職員に対して、感染予防行動の啓蒙周知、体調不良時の出勤停止措置対応、感染についての相談対応などを行った。

新型コロナウイルス感染症対策本部会議に出席し、専門的見地から感染防止対策に努めた。

5) 療養を要する教職員のサポート

医師の診断により、療養が必要とされた教職員に対し、療養中のサポート、医療機関との連携、復帰にあたってのプログラム作成、復帰後の面談等サポートを行った。

(3) 人権委員会

人権委員会はハラスメント防止部会と個人情報保護部会の2部会から構成されており、委員は各学部学科から教員6名(男性5名、女性1名)、事務局長を含む各部署から職員7名(男性4名、女性3名)の合計13名(男性9名、女性4名)で構成されている。また、ハラスメント等の相談を受けるハラスメント相談員10名(男性5名／女性5名)が選出されている。

1) ハラスメント防止部会

7月8日、人権委員会規程改正案の修正内容(①本学の全委員会規程の形式と整合性をとった案、②委員会規程の改廃権限(学長)の明記)について、人権委員会でのメール審議を経て、人権委員会規程改正の手続きを進めた。

5月14日、人権委員会・ハラスメント防止部会の相談員会議を開催した。関係規程を確認し、相談業務の流れについて情報共有した。また、相談業務を適切に遂行できるよう相談員としての注意点について他大学の資料や人事院規則を参照しながら確認した。

相談員会議後、相談員から寄せられた相談員の業務等に関する質問に答えることを主な目的として、9月18日、相談員研修会を開催した。本学外部アドバイザーである高野尾三穂弁護士をお迎えし、「ハラスメント相談員の役割～相談者・行為者への聴き取り、解決事例を通じて～」を演題にお話いただいた。

2) 個人情報保護部会

2020年度では、特別な活動はなかった。

C：施設管理

(1) 施設管理運営委員会

2020年度における施設設備の整備に関する主な事業は次の通りである。

①1号館屋上及び壁面の防水工事

1号館は短大部が松本市県から現在の新村に移転した1977年に建設した建物で、本学の校舎で最も古いものであるが、耐震改修工事を終え、部分補修を重ねながら今日に至っている。本工事では、屋上と外壁の全面的な補修、防水塗装工事を行った。

②総合グラウンドの避難用シェルター及び本部棟の設置工事

サッカー部と陸上競技部の学生の活動時、あるいは授業等で使用時に、雷や驟雨、突風等から速やかに避難し、安全を確保するための場所が必要であった。また、対外試合の際に必要な本部棟も併せて整備した。

③短大生・教育学部生を中心とする駐輪場の設置工事

既存の駐輪場のスペースが学生の増加により狭隘になったため、学友会からの要望等も踏まえ、短大生と教育学部生用の駐輪場を1号館北側に増設した。

④1号館121番教室の全席の背座張替工事

121番教室は収容人数が多い階段教室であることから使用頻度が非常に高い。老朽化により汚損した椅子の背座の全面張替を行った。

⑤IC学生証・教職員カードのシステムの更新

現行のICカードシステムについて、メーカーのメンテナンスが終了するため、2021年度から新たなシステムに移行していく必要があった。2021年4月から新システムを導入するための工事を行った。

⑥照明制御システムの更新

4号館管理棟の事務室で4・5号館・フォレストホール及びランドスケープの照明を集中管理している制御システムについて、メーカーのメンテナンスを終了するため、新たなシステムに移行する工事を行った。

⑦9号館レストランに交通系電子マネーチャージ機を設置

9号館レストランの券売機はSuica対応のものを導入している。学生、教職員のSuica利用者が増加傾向にあるため、マネーチャージ機を設置した。

⑧学生専用の製氷機の設置

これまで、4号館管理棟事務室内の製氷機を学生も使用していたが、職員の休日には使用できないため、部室棟の一角に学生専用の製氷機を設置した。

⑨新型コロナウイルス感染予防のための機器の配備

新型コロナウイルスの感染拡大の状況を踏まえ、学生及び教職員の感染予防のために、学内に検温アラームシステム7機、自動手指消毒機7台を配備した。

(2) 危機管理委員会

現在社会において大学に求められるリスクマネジメントの対象になる事象は、大規模災害への対処、キャンパスの安全管理など、広範囲にわたるものである。これらの課題に対する具体的な取り組みは、本委員会では環境保全と防犯・防災対策の2つを主に進めており、次の活動を行った。

1) 環境保全

[活動実績]

- ①古紙・段ボール等の資源回収は障がい者就労支援事業所の第2コムハウスと契約して発生量に合わせて回収している。また、エコ・キャップは常時学内で回収する専用の箱を設置している。
- ②学内の行事の際、資源回収、環境保護の観点に留意するように働きかけている。
- ③大学全体の1年間の電気使用料は照明のLED化などにより予算内での支出で対応することができた。

2) 防犯・防災対策

[活動実績]

①警備システム切替工事

9月～3月、IC教職員証の仕様変更に伴い、警備主装置、警備用リモコン、端末センサーを交換した。

②防犯カメラレコーダーのHDD交換

10月、設置から6年が経過し、交換時期を迎えたため、HDD全14台のうち7台を交換した。

③消防用設備定期点検(法定点検 2回/年)

1回目の点検は、8月17日～19日、製造より10年経過した屋内消火栓設備の消火栓ホース26本と、製造から5年経過した5号館防火シャッターのバッテリー7台分について、点検後速やかに交換した。また、2020年末で製造から10年経過する消火器が9本あったことから、2020年度内に交換作業を行った。

2回目の点検は、3月24日～3月26日、不良箇所等の指摘事項はなかった。

④防火設備点検(法定点検 1回/年)

2020年8月19日に実施した。また、消防用設備定期点検で指摘のあった是正箇所(防火戸が閉まり切らない等)については、10月24日に対応した。

⑤防災管理点検(法定点検 1回/年)

消火訓練及び避難訓練とは別に、地震に対する避難訓練を年1回以上実施すること、また、ロッカー、書棚等備品の転倒防止処置について指摘を受けた。

2. 入試広報部門

(1) 全学入試・広報委員会

入試・広報委員会は、大学院・総合経営学部・人間健康学部・教育学部・松商短期大学部の代表及び入試広報室の職員から構成されている。2020年度も2019年度に引き続き大学院代表が委員長を務めた。

全学入試・広報委員会の役割は、①学生募集に関すること(キャンパス見学会、進学説明会、高校訪問など)、②入学者選抜に関すること(入試改革への対応、入試問題の作成と確認、入試業務の運営など)、③①～②で全学的調整が必要な場合、各学部学科、または全学運営会議・全学協議会との連絡を行うこと、及び④受験生・在学生・保護者・地域住民等に対して、本学で行われている教育・研究・社会貢献活動等についての情報を発信し、広報していくことである。

また、入試委員会の関連組織として、総合型選抜の企画・運営に携わるアドミッション・オフィス運営委員会と、入学試験問題の作成に携わる入試問題検討会がある。

1) 委員会開催

①4月24日(金)、6月3日(水)、7月1日(水)、8月5日(水)、9月2日(水)、10月7日(水)、11月11日(水)、12月9日(水)、1月6日(水)、2月3日(水)、3月3日(水)の11回開催した。審議・決定した内容は下記のとおりである。

a) 今年度の入学者選抜について

今年度に行う入学者選抜について、全体として下記のことを確認した。

〈全体〉

- ・文部科学省からのガイドラインに準じて、新型コロナウイルス感染症対策本部会議と連携して入学者選抜を安全に行うための施策を作成し、学生募集要項に掲載した。
- ・高校の統廃合が進んで、状況の変化が見られたため、高校のランク見直しを行った。
- ・大学の学力特待生資格試験の受験料を15,000円(短大は現行通り)に改定した。
- ・入試の区分名を「大学入学センター試験利用選抜」から「大学入学共通テスト利用選抜」に変更した。
- ・総合型選抜で国際バカロレア教育を受けた日本人学生が本学を受験できるようにした。
- ・一般選抜の合否判定について、昨年と同様、第一志望主義とすることとした。
- ・「文章理解」や「国語」を担当する外部作問者を変更した。今年度は入試問題検討会を対面で開催することはできなかったが、外部作問者と学内入試問題検討担当が様々な手段でコミュニケーションを取り、試験問題を作成した。

各学部学科で選抜内容や定員の割り振りを下記の通りに見直した。

〈総合経営学部〉

- ・基本、昨年と同様。総合型選抜(一般)では、面接を2次選抜の1回のみとした。

〈健康栄養学科〉

- ・学校推薦型前期の定員を2名増、一般選抜Aの定員を2名減とした。
- ・編入学試験において、新たに三重短期大学に指定校枠を追加した。

〈スポーツ健康学科〉

- ・基本、昨年と同様。

〈教育学部〉

- ・総合型選抜(特別技能)を英語・英語教育または国際情勢に関し興味関心が深く、既定の外部英語検定や海外留学経験を評価する方式に特化した。総合型選抜(地域)は教育機関への就職について強く希望することを重視することとした。
- ・外国人留学生選抜では、財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験(1級以上)」に合格した者を出願条件とした。
- ・指定校推薦選抜では基準や枠を一部変更した。

〈松商短期大学部〉

- ・自己推薦選抜を廃止した。
- ・指定校枠を増加した。

〈大学院〉

- ・2021年4月の健康科学研究科博士課程の設置が認可されたため、初めての入学者選抜を行った。

②大学入学共通テストへの対応

- ・共通テストの国語と数学の記述式問題については、評価に含めないこととした。また、当初国語は「近代以降の文章」「古文」「漢文」が別々に採点されなくなるため、すべてを含めて「国語」として扱うこととしていた。しかし、その後、これらが別々に採点されることに変更されたため、昨年度までと同様に「近代以降の文章」の得点のみ「国語」の対象とすることとした。また、「外国語(英語)」の扱いとして、リーディング(100点満点)及びリスニング(100点満点)の得点を、それぞれ80点満点及び20点満点に換算して取り扱うことにした。
- ・英語外部試験やJapan e-Portfolioは取り扱わないことにした。
- ・調査書は、総合型選抜及び学校推薦型選抜において参考資料とし、一般選抜及び大学入試共通テスト利用選抜では入学前・入学後教育の参考資料として活用することとした。

③オープンキャンパスについて

4月～6月のオープンキャンパスは中止した。7月以降は午前と午後の2部制とし、人数を制限して完全予約制とし、昼食の提供は中止した。送迎バスも松本駅からのシャトルバスのみ配車した。内容は、学科説明会、ミニ講義または体験講座、入試相談、総合型選抜説明会、面接対策講座とした。

④広報について

- ・新型コロナウイルス感染症対策本部会議と連携して、新型コロナウイルス感染症に対する大学の対応や入学者選抜実施の注意点について、随時、HP上で発信するとともに、学内で情報を共有した。
- ・高校訪問や高校からの来校要請(出前講義、進路相談等)、高校開催の進路ガイダンス、業者提案の会場型ガイダンスへの出席や高校生の大学見学、キャンパス見学会、入試相談会の開催については、新型コロナウイルス感染症対策本部会議との協議により中止や、規模縮小及び完全予約制の導入等を行って開催した。
- ・入学者選抜に関わる募集要項等はWebのみの掲載とし、大学案内及び短大ナビゲーションは、入学者選抜に関わる情報を切り離れた内容で作成し、登録がある高校生に郵送した。
- ・Web学校ガイダンスや教員による講義等を動画配信した。
- ・主に保護者をターゲットとした新聞及びテレビ広告に加えて、高校生向けのインターネット広告(Google、LINE)を進めていくこととした。
- ・Webキャリア図鑑は、掲載する協力学生の減少により内容も古くなってきていることから、HP上での一次公開を中止し、今後内容を精査してリニューアルすることとした。
- ・学報「蒼穹」第139号～第142号を編集・発行した。主に本学における新型コロナ感染症対策とコロナ禍での講義形式や完成年度を迎えた教育学部について特集した。具体的には、「健康と安全を最優先に新しい形の教育・研究のあり方を模索しながら学びの質と量の確保をめざす」(2020年6月号)、「多彩な分野で活躍する卒業生の今」(2020年9月号)、「独自の教育手法をより一層強化し、新たな学びの機会の充実と環境づくりをめざす」(2020年12月号)、「完成年度を迎えた教育学部4年間の学びを糧に一期生は新たなステージへ」(2021年3月号)とした。

⑤その他

- ・松商学園高等学校との間で、大学入試の現状と大学本学入学者に関する相互理解を深めるために、進路指導教員だけでなく3年生の担任と、本学入試担当教職員との間で、2年連続となる説明会を行った。
- ・高等学校教員に対する学生募集説明会を本学と長野市において対面で行った。
- ・教務課から提供された各種データ(GPA、退学・除籍者分析、卒業率・退学率・留年率、新入生ブレイスメントテスト、学修行動調査等)をふまえて入学者の追跡調査を行い、入試の妥当性について

各学部学科において検討した。

- ・今年度の一般選抜Aの地方会場のうち東京会場と名古屋会場は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から実施が困難となることが予想されたため廃止し、代わりに長野会場(メトロポリタン)を新設した。したがって、甲府、新潟、高崎と合わせて4ヵ所とした。
- ・大学及び短期大学部の入学者選抜規程、外国人留学生の入学選考に関する規程、授業料減免規程、入学金免除規程、受験料免除規程、大学院特待生規程及び大学院入学金免除規程を整備又は改廃した。
- ・アドミッション・オフィス運営委員会からの現在予定している総合型選抜方法の実施が困難になった場合の代替案の提案を受け、承認した。
- ・入学者選抜の同じ入試区分での重複受験者の割引制度や一般選抜や大学入学共通テスト利用選抜においての特待生希望申告制を廃止、並びに、障がい者への事前対応についての組織化などについて検討した。

2) 事業・活動

①オープンキャンパスの実施

高校生を対象にしたオープンキャンパスを実施し、大学及び各学部学科の魅力をアピールするとともに、入試や就学に関する様々な相談に対応して受験者の獲得に努めた。なお、日程並びに動員数等の詳細については、入試広報室の項(V-3)を参照されたい。

②学外での模擬授業・模擬面接の実施

学外、多くは高等学校内で実施される模擬授業並びに模擬面接に参加した。なお、具体的な日時や回数及び動員数等については、高等学校での出前講義(Ⅲ-3-(2))および入試広報室の項を参照されたい。

③学外での説明会参加

学外で実施された大学・学部・学科の説明会に参加した。なお、具体的な日時や回数及び動員数等については、高等学校での出前講義及び入試広報室の項を参照されたい。

3) 入試問題検討会

大学または各学部学科のアドミッションポリシーに則った①入試問題の出題方針の決定、並びに②方針通りに入試問題が作成されたことの確認を行うことを目的としている。

①検討会開催

外部作問者が主に首都圏に在住であり、新型コロナウイルス感染症蔓延のため、今年度は対面で会議を開催しなかった。

②事業・活動

a) 作題案の確認と修正

学内担当者と作問者がオンラインで打ち合わせ等を行い、その内容に関する意見交換等を電話、E-mail、手紙等で行い、必要に応じて修正、各担当教員の了承を得た上で、最終作題案が決定された。

b) 最終作題案のチェック

原案をもとに、事務局及び科目担当教員と学外作問者間で、内容が適切であるかどうか、誤りがないか等詳細にチェックを行った。

(2) アドミッション・オフィス運営委員会

1) 委員会開催

第1回 4月16日(木)第4会議室

- ①学生募集要項に基づき、各学部学科の選抜方法について確認した。また、新型コロナウイルス感染症の影響が長引いた場合、総合型選抜で実施している模擬授業及び確認テスト(短期大学部を除く)の実施について、感染拡大を避けるため、代替え案を各学部にて検討することとした。感染拡大に考慮しつつ、各学科の特色を出せるような内容を各学科で検討する。

(総合経営学部)

総合型選抜(一般)の一次選抜において個人面談を削除し、エントリーシートを追加する(面談を2回から1回とする)。観光ホスピタリティ学科の公表定員を変更する。

(健康栄養学科)

昨年度同様で変更がないことを確認した。

(スポーツ健康学科)

総合型選抜(運動)の実施方法を確認した。

(教育学部)

特別技能を、英語能力に絞った形に変更する。

(短期大学部)

昨年度同様で変更がないことを確認した。

- ②出願資格の変更について確認した。新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度オープンキャンパスの通常開催が不可能なため、受験生の公平性を担保するためにも、今年度についてはエントリー要件からオープンキャンパスの総合型選抜説明会参加を外した。また新たな出願資格として出願資格に「国際バカロレア教育を受けた者」を追記することを確認した。
- ③学生募集要項に基づき、各学部学科のアドミッションポリシーを確認した。

第2回 5月28日(木)大会議室

- ①前回に引き続き、本年度の総合型選抜を実施するにあたり、現在予定している選抜方法等で入学者選抜の実施が困難な場合の代替案について検討した。

(総合経営学部)

入学者選抜の公平性を担保することを重視し、案①「学内の受験室において、録画した模擬授業を映し出し、課題を与える」を第1候補としている。しかし、学内での実施が困難な場合は、案②、③、④「オンライン及び郵送での対応」で実施することを想定している。

(健康栄養学科)

学内において実施が可能であれば案①「3密を避けた講義とミニテスト」を採用し、学内が困難な場合は、案②「オンライン及び電話等での対応」を採用する。

(スポーツ健康学科)

一般選抜は、学内で実施可能であれば案①「自宅プラス学内での実施を併用」を採用し、学内での実施が困難な場合は案②「オンラインでの対応」を採用する。

運動選抜は、学内で実施可能であれば案①「自宅プラス学内での運動能力テスト」を採用し、学内での実施が困難な場合は案②「オンライン及び郵送での対応」を採用する。

(教育学部)

エントリーシートの内容をより詳細にし、課題図書に対する作文の提出を検討しているが、学力の担保が課題となっている。

(短期大学部)

予定通りの方法で実施が可能と考えている。しかし、学内での実施が困難な場合は、オンラインでの面談や郵送等で対応する。

2) 事業・活動

- ①今年度より、アドミッション・オフィス運営委員会と改称した。
- ②新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑え、各学部学科でアドミッションポリシーに沿った総合型選抜を行った。
- ③総合型選抜のあり方について、数年先を見据えて検討を続けていくことを確認した。

(3) 大学入学共通テスト実施委員会

大学入学共通テスト実施委員会は、本学キャンパスを令和3年度大学入学共通テストの試験会場として運営するための準備と運営、大学入試センターや他試験場との調整を主な業務として活動してきた。当年度は教員8名、職員8名の委員構成で実施した。

今年度は配慮者に対する教室が2教室必要となったことより試験室数が10教室となり、割当数は昨年度と同様の617名であった。「地歴・公民と理科②の受験パターン別の受入れに関するグループ化」の受け入れにより、2日目に受験者がいなくなる教室とともに、理科②の時間帯における空き教室もできたが、すべての教員に原則3~4コマを担当していただくとともに、2日間の出勤をお願いした。しかしながら、親族の介護等の理由で免除を申し出る教員が相当数おり、また、ミスをなくするために原則連続して試験監督にあたらなようにしたため、配置が困難を極め、これまで対象外だった嘱託専任教員及び専門員に対しても試験監督を依頼した。また、新型コロナウイルス感染症対策として、教職員にはマスク、検温等を義務付けるとともに、本人及び近親者等で感染を強く回避する必要がある教職員には、指定用紙にて申し出をしてもらい、配置時にその事情を考慮した。更に、受験者の感染対策として、地歴公民の一科目受験者の入室方法、食事に関する指示事項、教室の消毒、体調不良者発生時の対処方法の確認、休憩時間及び登下校時を含めた3密の回避対策を行った。当日は追試験申込者や別室試験者も発生することなく、また遺漏なく無事に業務を遂行することができた。

1) 会議及び実施事項

①第1回令和3年度大学共通テスト長野県地区連絡会議

7月6日(月)遠隔会議システムにて

令和3年度大学共通テストでの試験場設定と連携について

- ・特に第二日程の試験場設定が懸案事項となった。

②令和3年度大学共通テスト長野県地区連絡会議(中信地域担当者会議)

令和2年7月14日(火)web会議にて

参加大学：信州大学、松本歯科大学、松本大学

以下の4項目において議論がなされた。

ア)各試験場の志願者収容人数について

- ・本学から机間距離の確保と予備席確保による収容人数の削減について要望した。

イ)試験場のグループ化について

ウ)障害等のある志願者の受け入れについて

エ)第二日程の試験場設定について

③第2回令和3年度大学共通テスト長野県地区連絡会議(中信地域担当者会議)

8月19日(水)web会議にて

参加大学：信州大学、松本歯科大学、松本大学

- ・第二日程の試験場設定について

④第1回大学共通テスト入試担当者連絡協議会

例年実施されている東京での大学共通テスト入試担当者連絡協議会は実施されず、大学入試センターより令和3年度試験実施内容及び大学入学共通テストの解説、新型コロナウイルス感染症対策等に関する関係書類の送付が随時なされ、それに基づき学内準備、対応を行った。

⑤第1回大学入学共通テスト実施委員会

12月1日(火)

学外参加会議の報告と感染対策を含めた当年度試験の変更点の確認

本学試験会場の試験室、控室、救護室の確認

監督者等の配置基準の確認

監督者会議及びリスニング予行演習に向けた各委員の役割分担

監督者会議及びリスニング予行演習の進行と説明内容の確認

⑥第1回監督者会議

12月23日(水)

監督者に向けた業務内容の概説

⑦第2回大学共通テスト入試担当者連絡協議会

第1回同様に実施されず、大学入試センターより試験当日の留意点等の関係書類が送付され、随時、送られてきた書類に基づき対応を行った。

⑧第1回リスニング試験予行演習

1月6日(水)

リスニング試験担当の監督者に向けたリスニング試験実施方法の解説

⑨第2回リスニング試験予行演習

1月12日(火)

リスニング試験担当の監督者に向けたリスニング試験の事故対応解説

⑩試験問題の受取・仕分作業

1月7日(木)

問題冊子と解答用紙の仕分けと保管

⑪大学共通テストスタッフ会議

1月8日(金)

大学共通テストに向けた、職員間における作業内容の確認

⑫手話講師との打ち合わせ会議

1月13日(水)

要配慮者に対する手話の配置に伴う実施事項の確認

⑬第2回監督者会議

1月15日(金)

監督者に向けた業務内容の詳説

⑭試験会場設営準備作業

1月15日(金)

各試験室の設営と検査

⑮大学共通テスト業務の実施

1月16日(土)・17日(日)

試験業務の実施

解答用紙のチェックと保管

⑯答案用紙等の引き渡し

1月19日(火)

運送業者への答案用紙等の引き渡し作業

3. 研究推進管理部門

(1) 研究推進委員会

1) 委員会開催

- ・4月28日(火)、5月7日(木)(メール審議)

新型コロナウイルス感染症対策のため、研究推進委員長の判断でメール審議で対応できる内容については可能な限り委員会を開催しないこととした。

【審議事項】

- ①大学院健康科学研究科 河野准教授による助成金申請について

日本医療研究開発機構(AMED)への研究助成費申請において、採択決定時には大学(所属研究機関)とAMEDとの間で委託研究開発契約の締結を行うことから、申請承認の機関決定が必要となる。定例(全学協議会前)の研究推進委員会の開催では申請に間に合わないため、4月28日(火)付けのメールにて、申請内容(研究概要)等について審議を依頼した(5月7日(木)を期限とする意見聴取)。その結果、5月7日までに審議対象となる意見はなかったため、AMEDへの申請について承認されたものとした。委員及び申請者に対して、審議結果をメールにて報告した。

- ・7月22日(水)、7月27日(月)(メール審議)

【審議事項】

- ①私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」の募集について

私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」の募集にあたり、7月22日(水)付けのメールにて、「募集案内(案)」、「申請書様式(案)」について審議を依頼した(7月27日(月)を期限とする意見聴取)。その結果、7月27日(月)までに審議対象となる意見はなかったため、審議内容について承認された。委員に対して、審議結果をメールにて報告した。

- ・9月23日(水)(第1回)

【審議事項】

- ①私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」申請について

審議に先立ち、申請条件の確認が行われ、引き続き、2件の申請内容について審議がなされた。(審議に入る前に、山田委員は申請当事者のため退席)

- a) i) 申請者：山田一哉

- ii) 共同研究機関：大阪大谷大学薬学部

- iii) テーマ：インスリンによる血糖調節機構の解析—TGF- β によるSHARP-2遺伝子の発現調節—

申請書の内容について審議がなされ、異議なく承認された。本取り組みを私学事業団に対する本年度の私立大学等経常費補助金特別補助申請に加えることとした。学内において既に承認済の研究助成費については、補助金申請額での再申請手続きを依頼することとした。

- b) i) 申請者：沖嶋直子

- ii) 共同研究機関：長野県立こども病院・小林耳鼻咽喉科医院

- iii) テーマ：リングPFASアレルゲンMal d 1の定量およびMal d 1低発現リングの経口負荷試験

申請書の内容について審議がなされた。その中で、事務局より所要経費の処理科目変更について説明がなされた。以上の変更をふまえて審議した結果、本申請は異議なく承認された。これによりこの取り組みを私学事業団に対する本年度の私立大学等経常費補助金特別補助申請に加えることとした。本件についても学内において既に承認済の研究助成費について、補助金申請額での再申請手続きを依頼することとした。

- ②教育総合研究編集責任者について

教育総合研究第4号の編集責任者として、教育学部守一雄教授が推薦され、異議なく承認された。9月23日現在28件の執筆申請があり、うち22件の原稿が提出されており、査読を依頼中である旨報告があった。なお、申請中13件は新型コロナウイルス感染症対策として本学が取り組んでいるオンライン授業に関する

る教育実践報告となっており、関連する原稿を中心に特集を組む予定であることが合わせて報告された。

【報告事項】

①研究倫理e-learningの受講について

報告事項2に関連して、標記の件については研究倫理に関するFD・SD研修会の参加歴も認めていたが、受講歴を明確なものとするため、日本学術振興会の「研究倫理e-learning」の未受講者については、個別依頼により受講を推奨する方針としたことが委員長から報告された。

②研究費管理・研究倫理等に関するチェックリストの提出について

科研費等の競争的資金を中心とした公募型の研究資金の配分を受ける研究機関は、「公的研究費の管理・監査のガイドライン」に基づく『体制整備等自己評価チェックリスト』及び「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」に基づく『取組状況に係るチェックリスト』の提出が求められている。今年度もそれぞれのチェックリストを作成し、5月11日(月)・12日(火)に提出したことが報告された。

③査読の依頼について

教育総合研究第4号の刊行にあたり、守編集責任者からの指摘を踏まえ、学内教員による査読は互惠精神に基づく制度であることへの理解を促す依頼文を付し査読をお願いしている旨報告があり、資料として依頼文が提示された。依頼文の内容に関する意見等は、委員長に寄せることにした。

・10月28日(水)(第2回)

【審議事項】

①個人研究費と研究助成費の2020年度補正予算・2021年度予算申請について

a) 予算申請に係るスケジュールについて

学内研究費に係る2020年度補正予算申請及び2021年度予算申請に係る日程等について提案がなされた。加えて2020年度の特別対応として、コロナ対策関連費用として10,000円を専任教員に支給するとの提案がなされた。本費用は個人研究費に上乘せし、補正予算として申請を依頼するとの説明があり、審議の結果日程案とともに異議なく承認された。今後のスケジュールについては、11月2日付で全専任教員に通知し、各学部教授会においても報告するよう依頼があった。

b) 新任教員に対する研究助成費について

新任教員に対する研究助成費については、従来通り研究室の立ち上げ等に伴う経費として、一人あたり30万円を予算計上することを承認した。

・11月20日(金)、11月27日(金)(メール審議)

【審議事項】

①本学専任教員による森永乳業(株)との共同研究実施について

本学専任教員(健康科学研究科 青木雄次教授、齊藤 茂准教授)による森永乳業(株)との共同研究実施の可否について、メール審議を依頼した。齊藤准教授からの申請については11月20日(金)付けのメールで、青木教授からの申請については11月22日(日)のメールで、それぞれ森永乳業(株)との共同研究実施の可否について、11月27日(金)を期限として意見聴取を行った。その結果、審議対象となる意見が出されなかったため、本共同研究を承認した。審議結果については各委員に対して、メールで報告した。

・1月25日(月)、1月28日(木)(メール審議)

【審議事項】

①本学専任教員による(株)トゥーコネクト及びモリリン(株)・(株)キャンパスクリエイトとの共同研究実施について

本学専任教員(健康科学研究科 弘田量二教授)による、(株)トゥーコネクト及びモリリン(株)・(株)キャンパスクリエイトとの共同研究実施の可否について、1月25日(月)付けメールにて、審議を依頼し、1月28日(木)を期限として意見聴取を行った。その結果、審議対象となる意見が出なかったため、本件を承認した。結果については、1月29日(金)付けのメールにて、各委員に報告した。

・2月24日(水)(第3回)

【審議事項】

①2021年度研究助成費について

委員長より、所属長、研究推進委員長、事務局長、大学委員長、学長による審査・査定結果を踏まえた研究助成費の委員会案の提案がなされた。この中で、“0査定”となった4件の理由について、申請要件である「科研費等の外部資金申請」がないこと、名義の貸し借りによる二重申請の疑いがあること、継続している研究であるため萌芽研究に該当しないこと、等の説明があった。審議の結果、委員会案は異議なく承認された。これらの結果を受け、申請者には修正申請書の提出を依頼することとした。

なお、2020年度は新型コロナウイルス感染症の流行により助成金の申請書通りに研究計画が進まず、学内における教員研究発表会でも申請内容の変更が散見したことから、次年度以降諸々の事情により申請内容の変更が必要となる場合には、事前に委員会に申出て承認を得ることの周知を図ることが提案された。また、図書費等の細目について、年度ごとに査定基準が変わることが無いようにとの指摘があった。

②公的研究費の管理・監査のガイドラインに基づく誓約書について

資料に基づいて説明がなされ、審議の結果異議なく承認された。なお、誓約書等については、4月1日開催の合同教授会において配付、説明し、提出を依頼する。

③科学研究費(科研費)の申請、会計管理について(確認事項)

赤羽管理課長より、科研費事務の取扱いについて、本学ではこれまで科研費の申請において、本学を所属研究機関とすることができる者は本学の専任教職員のみとし、非常勤講師等は本学を所属研究機関にできないものとして取り扱ってきた。研究費管理の対象者についても専任教職員のみとしているが、今後も同様の取扱いで良いかとの提案がなされた。

審議の結果、現時点では明文化されていないことから、当面は、従前どおりの取扱いとし、専門員等を含めた取扱いについて継続的に協議することとした。

2) 事業・活動

- ・平成2020年度個人研究費・研究助成費の募集、査定、査定結果の通知
- ・第9回松本大学教員研究発表会開催

2月24日(水)・26日(金)の2日にわたり、第9回教員研究発表会を開催した。松本大学では、学術研究助成費、地域志向研究助成費、教育推進研究助成費、萌芽的研究助成費の区分に加え大学間連携による共同研究に対する助成を行っているが、それらの成果として、33演題の発表があった。今年度は新型コロナウイルス感染症流行の影響があり、特に学外をフィールドとして研究活動を行っている教員において、発表内容の変更や発表を見合わせるケースもあったが、発表数はほぼ例年通りであった。今年度発表できなかった教員については、次年度以降発表していただくよう確認した。また、発表会当日のタイムキーパーなど会場運営は、例年通り松本市インターンシップ事業に参加している地域総合研究センター特別調査・研究員(本学卒業生)に依頼し、スムーズな運営を行っていただいた。

①研究誌編集

松本大学で発行している3研究誌については、各号ごとに研究推進委員会の承認を得た編集責任者を設け、委員長とともに査読結果報告を行っているが、本年度は新型コロナウイルス感染症の流行もあったことから、各研究誌に関連する委員の推薦を受け、研究推進委員会委員長が依頼した。

i)「地域総合研究第21号 Part1」(編集責任者 白戸洋)、7月31日 発行

第1部の松本大学地域総合研究センター研究員報告では、論文4編、研究ノート4編、調査・事例報告1編、教育実践報告1編の合計10編を掲載した。さらに、第2部では、2019年度に行われた地域連携活動経費による活動報告14件、地域総合研究センター特別調査・研究員(松本市地域づくりインターン)活動報告として、4件の報告書を掲載した。

ii)「教育総合研究」第4号(編集責任者 守一雄)、11月30日 発行

論文4編、研究ノート2編、調査・事例報告1編、教育実践報告2編、資料4編の合計13編を掲載した。

また、第4号別冊として、「特集：新型コロナウイルス感染症流行下におけるオンライン遠隔教育実践報告」

を発行し、各学部・短期大学部において取り組まれたオンライン遠隔授業に関する、計14編の教育実践報告を掲載した。本特集では、上記各学部で実践されたオンライン遠隔授業の取り組みに加え、松本大学における遠隔授業導入の経緯や遠隔授業を支えた情報センターの取り組み、総合経営学部・人間健康学部教職センターによる教育実習と教員採用指導などについても報告されている。

iii)「松本大学研究紀要第19号」(編集責任者 清水聡子)、3月10日発行

論文5編、研究ノート1編、教育実践報告1編、資料2編の合計9編を掲載した。

②松本大学出版会運営

- ・既存の書籍についての販売、在庫管理等を行った。
- ・以下の書籍の編集等の業務を行った。

i)「小学校社会科における価値判断の授業開発—包摂主義を基軸とした価値類型の有効性—」

著者 秋田 真
 定価 2,300円+(消費税)
 本のサイズ A5版、並製本、本文232頁
 発行年月日 2021年4月5日(予定)

なお、上記書籍については昨年度出版が承認されていたもので、発刊は来年度となった。

③発明管理

発明管理については、2016年8月1日に施行された「松本大学知的財産管理委員会規程」に基づいて「発明管理部会」として設置されたが、審議事項が無かったことから、2018年度より研究推進委員会で扱うこととした。

2020年度においても、特に発明の届出は無かった。今後特許等の申請数が増えるよう規程の学内周知を図るとともに、積極的に申請を行えるようなサポート体制を構築する必要がある。

(2) 地域総合研究センター運営委員会

1) 構成

運営委員長(センター長) 1名
 運営委員 教員 7名(大学院1名、総合経営学部2名、人間健康学部2名、教育学部1名、短期大学部1名)
 特別調査・研究員 4名
 事務局 9名

2) 事業・活動

①地域との連携事業

I)松本市との提携活動(継続事業)

a)松本市地域づくり研究連絡会

担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 白戸 洋教授

総合経営学部観光ホスピタリティ学科 木村晴壽教授

- ・地域づくり市民活動研究集会 令和3年2月21日(日)(オンライン開催)

b)観光ホスピタリティカレッジ企画・運営(事務局業務)

i)観光ボランティアガイド養成講座

2020年度「ガイドスキルアップ講座」(2020年8月～12月 全12講座) 受講者：10名

講師：ココブラ信州／安曇野ふるさとづくり応援団 高松 伸幸氏、宮崎 崇徳氏

第1講：8月19日(水)WEB会議サービス(ZOOM)による講演会

内容：演題「プラタモリのつくり方～ストーリーでつむぐ地域の魅力～」

(講師：「プラタモリ」チーフ・プロデューサー 渋谷 義人氏)

第2講：9月2日(水) 会場：市民活動サポートセンター、松本城～城下町

- 内容：講義／フィールドワーク「観光ガイドと街歩き」
- 第3講：9月9日(水) 会場：あがたの森文化会館
内容：講義「ガイドの心構え」
- 第4講：9月23日(水) 会場：城北公民館～ホテル花月
内容：フィールドワーク「ガイド実践①コース下見」
- 第5講：9月30日(水) 会場：あがたの森文化会館
内容：グループワーク「求められるガイドの姿～地域資源とその使い方について考える～」
- 第6講：10月14日(水) 会場：松本城周辺
内容：フィールドワーク「先進地外部ガイドによる研修」(講師：森の案内人 三浦 豊氏)
- 第7講：10月21日(水) 会場：城北公民館～沢村公民館～天白社～世育稲荷
内容：フィールドワーク「ガイド実践①前半」
- 第8講：10月28日(水) 会場：北門の井戸～鯛亀の井戸～ホテル花月 大手公民館
内容：フィールドワーク「ガイド実践①後半」
講義「ガイド実践①振り返り、ガイド実践②ガイダンス」
- 第9講：11月11日(水) 会場：大手公民館～花時計公園
内容：フィールドワーク「ガイド実践②コース下見」
- 第10講：11月25日(水) 会場：大手公民館～旧市役所跡～源池の井戸
内容：フィールドワーク「ガイド実践②前半」
- 第11講：12月2日(水) 会場：中町蔵シック館～花時計公園、大手公民館
内容：フィールドワーク「ガイド実践②後半」
講義「ガイド実践②振り返り」
- 第12講：12月16日(水) 会場：あがたの森文化会館
内容：まとめ、修了式

ii) 市民公開講座(オンライン講座)

- 1) 「プラタモリのつくり方～ストーリーでつむぐ地域の魅力～」
2020年8月19日(水)ZOOMによる講演会 参加人数：61名
講師：渋谷 義人氏(「プラタモリ」チーフ・プロデューサー)
- 2) 「日本が世界に誇れる『気づかい』の習慣とは」
2020年9月25日(金)ZOOMによる講演会 参加人数：11名
講師：上田 比呂志氏(大人の寺子屋 縁かいな代表)
- 3) 「松本の水と食の可能性」
2020年11月2日(月)YouTubeにて配信開始 収録会場：松本市下町会館
講師：小池 晃氏(長野県南安曇農業高等学校生物工学科教諭)
- 4) 「テーマパークの人材育成」
2020年11月18日(水)YouTubeにて配信開始 収録会場：ホットプラザ浅間
講師：徳田 祐一郎氏(CSコンサルタント／元オリエンタルランドディズニースタッフアカデミー管理運営担当)
- 5) 「持続可能な松本の“食”を創る」
2020年12月10日(木)YouTubeにて配信開始 収録会場：国宝旧開智学校
講師：岩崎 博論氏(博報堂ミライの事業室ビジネスデザインディレクター)
加藤 百合子氏(株式会社エムスクエア・ラボ代表取締役)

II) 地域づくりインターンシップ戦略事業(2020年度分)

- ・内容 松本市と「地域づくりインターンシップ戦略事業業務委託契約」を締結し、今年度は地域総合研究センター特別調査研究員4名が松本市内の各地区地域づくりセンターを活動拠点として、地域づくりに関する研究活動等を行った。

- ・特別調査研究員・活動地区
- 4期生 奥原 芳紀：波田地区担当
- 丸山 隼：中央地区担当
- 正木 輝：中央地区担当
- 5期生 平林 洸：入山辺地区担当

②受託事業窓口業務

- a) 令和2年度「松川村観光振興支援業務」
委託先機関：松川村
担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 山根宏文教授
- b) 令和2年度キラリ☆アクア健康教室
委託先機関：筑北村
担当：人間健康学部スポーツ健康学科 根本賢一教授
- c) 安曇野市親子プログラミング教室
委託先機関：安曇野市
担当：総合経営学部総合経営学科 室谷 心教授
- d) いくさか歩こう部講師派遣
委託先機関：生坂村
担当：人間健康学部スポーツ健康学科 田邊愛子准教授
- e) 微細藻類由来機能性物質共同研究
委託先機関：株式会社日健総本社
担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博准教授
- f) 6次産業
委託先機関：齋藤農園
担当：人間健康学部健康栄養学科 矢内和博准教授
- g) 上高地における子供向けガイドプログラムの素材提案事業
委託先機関：自然公園財団 上高地支部
担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 中澤朋代准教授
- h) 岐阜県中部山岳国立公園エリアの活性化プログラムの提案
委託先機関：飛騨高山大学連携センター
担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 中澤朋代准教授
- i) 岐阜県中部山岳国立公園エリアの活性化プログラムの提案(リモート発表)
委託先機関：飛騨高山大学連携センター
担当：総合経営学部観光ホスピタリティ学科 中澤朋代准教授

③『地域総合研究第21号』発刊

- Part1(2020年7月31日)
- Part2(2020年11月30日)

(3) 研究倫理委員会

1) 委員会開催

5月1日(金)(メール審議)

2019年度自己点検・評価報告書の原稿について審議し、承認した。

6月18日(木)(メール会議)

下記の1件の申請について審議し、承認することを確認した。

「総合経営学部新入生に対する基礎学力 e-learning システムの学修効果」 総合経営学部総合経営学科
室谷 心教授

9月17日(木)(メール会議)

下記の1件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。

「Paraphrasing技法の習得がSpeaking能力に及ぼす影響2020」 教育学部学校教育学科 和田順一准教授

10月16日(金)(メール会議)

下記の2件の申請について審議し、a)は承認、b)は継続審議することを確認した。

a)「日英語話者による物体の空間関係把握様式に関する研究」 教育学部学校教育学科 藤原隆史専任講師

b)「性ステレオタイプ心理実験による検証：クイズ課題のパートナー選択を通して」 教育学部学校教育学科 守一雄教授

11月26日(木)(メール会議)

下記の1件の申請について審議し、継続審議することを確認した。

「低アレルゲン性リンゴの探索」 人間健康学部健康栄養学科 沖嶋直子専任講師

12月10日(木)(メール審議)

下記の1件の申請について審議し、東京農業大学で既に承認済みの計画であることから、追認とすることを確認した。

「日本人アスリートの身体的特徴と食習慣・食環境」 人間健康学部健康栄養学科 長谷川尋之専任講師

1月18日(月)(メール審議)

下記の2件の申請について審議し、森永乳業株式会社で既に承認済みの計画であることから、追認とすることを確認した。

「試験食品摂取の運動習慣のある健常者の体調に関する自覚症状に対する効果の検討ーランダム化二重盲検プラセボ対照並行群間比較試験ー」 大学院健康科学研究科 齊藤茂准教授

「健常成人における過去の感染症様症状の発現頻度と免疫機能に関する横断研究」 大学院健康科学研究科 青木雄次教授

3月8日(月)9:40~10:30

①下記の7件の申請について審議し、aは承認、b・cは修正後承認、dは継続審議することを確認した。

a)「亜最大運動疲労困憊後の血中乳酸除去からみたクーリングダウン強度の影響 大学陸上競技部長距離選手について」 人間健康学部スポーツ健康学科 山本薫准教授

b)「家庭の健康的な食生活実践に及ぼす学校給食の教育的価値～給食食材を題材として」 人間健康学部健康栄養学科 成瀬祐子専任講師

c)「大学生の同調行動の心理実験による検証：アッシュ実験の再現研究」 教育学部学校教育学科 守一雄教授

d)「ICT活用に関する調査研究」 教育学部学校教育学科 佐藤茂太郎専任講師

e)「算数科指導における自身の要因に関する調査研究」 教育学部学校教育学科 佐藤茂太郎専任講師

f)「プレフレイル高齢者へのアガロオリゴ糖介入によるフレイル進行阻止の新たな取組み」 健康科学研究科 弘田量二教授

g)「デオセルおよびPLAのかゆみ軽減効果の検証」 健康科学研究科 弘田量二教授

②下記の2件の変更申請について審議し、承認することを確認した。

h)「試験食品摂取の運動習慣のある健常者の体調に関する自覚症状に対する効果の検討 ランダム化二重盲検プラセボ対照」 健康科学研究科 齊藤茂准教授

i)「健常成人における過去の感染症様症状の発現頻度と免疫機能に関する横断研究」 健康科学研究科 青木雄次教授

2) 動物実験

①会議

5月1日(金)(メール審議)

a) 2019年度自己点検・評価報告書の原稿について審議し、承認した。

3月22日(月)(メール会議)

下記の4件の申請について審議し、承認することを確認した。

a) 「血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明」 健康科学研究科 高木勝広教授

b) 「ホルモンと栄養素による遺伝子の転写制御機構の解析」 健康科学研究科 山田一哉教授

c) 「生化学実験(健康栄養学科2年生後期)」 健康科学研究科 山田一哉教授

d) 「骨格筋機能を決定する生理的要因とそのメカニズム解明」 健康科学研究科 河野史倫准教授

②事業・活動

5月20日(水)

・動物慰霊祭を開催した。

5月22日(金)

・院生、学部生を対象に第1回教育訓練(オンライン)を実施した。

9月29日(火)

・健康栄養学科学部生を対象に第2回教育訓練を実施した。

3) 遺伝子組換え実験安全

①会議

5月1日(金)(メール審議)

a) 2019年度自己点検・評価報告書の原稿について審議し、承認した。

3月22日(月)(メール会議)

下記の5件の申請について審議し、承認することを確認した。

a) 「血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明」 健康科学研究科 高木勝広教授

b) 「酵母の形質転換」 健康科学研究科 高木勝広教授

c) 「高炭水化物食による遺伝子発現調節機構の解析」 健康科学研究科 山田一哉教授

d) 「肝臓に作用する概日リズム調節因子・メラトニンによる血糖調節機構」 人間健康学部 浅野公介助手

e) 「筋特性の発生・維持・変化に関わる分子メカニズムの追求」 健康科学研究科 河野史倫准教授

4. 地域連携部門

(1) 地域力創造委員会

1) 委員会開催

①7月3日(金)(メール審議)

【審議依頼】地域力創造委員会規定

②第1回 11月11日(水)11:20~11:50

【審議事項】

- ・公開講座(平和教育)の開催について
- ・2021年度公開講座経費申請について

③1月16日(土)(メール審議)

【審議依頼】公開講座2021年度予算

2021年度公開講座申請の内容(6件)についてメール審議を行った。審議の結果、委員長が提示した当初予算案は異議なく、すべて承認された。

(2) 地域防災対策委員会

本委員会は、本学における地域連携強化のために防災対策を切り口とした体制整備、防災訓練の計画と実施、また人材の育成を目的としている。自然災害を想定した体制整備は地域社会(具体的には松本市新村地区)との関係性の中から構築するもので、文字通り「地域防災」をテーマに掲げて計画するものである。

1) 活動

①防災士養成研修講座(日本防災士機構)

開講：1)10月10日(土)・11日(日)、2)2月13日(土)・14日(日)の養成講座2回を計画していたが2回目は新型コロナウイルス感染防止の観点から開講できなかった。機構の規定でリモートでの講座は認められていなかったためリモートでも実施できなかった。

②防災士フォローアップのための組織活性化と研修会実施

「長野県地域防災推進協議会」を昨年創設、本学が事務局を担っていることから会員向けの研修会を9月12日(土)と2月13日(土)の計2回を松本大学で計画していたがコロナ感染防止の観点で中止した。併せて同協議会役員会も同様の処置をとった。

③地域社会(松本市新村地区)との防災訓練の実施

10月13日(火)新村地区との合同訓練として新村保育園における子どもの防災教育訓練を予定したが地区との協議の結果中止した。

④学内の防災関連の正規授業

人材育成の観点で講師手配など関係するネットワークを活用した。

今年度はコロナ禍で活動は大幅な制限を受けたが、「長野県地域防災推進協議会」の事務局を担当することで学内に留まらず、長野県内を想定した強靱なネットワーク化を図る足掛かりが構築しつつある。それらの対応を強化する目的で、学内的に松本大学地域防災科学研究所の設置構想を提案、機関決定を3月までに得た。次年度以降は当研究所を核とした展開をはかる。

(3) 地域健康支援ステーション運営委員会

管理栄養士と健康指導士を専任スタッフとして配置し、地域住民や企業・自治体等からの要望に応じてメニュー開発や栄養指導、運動指導や体力測定などの活動を、栄養と運動の両面からアプローチする健康

づくりの支援活動を行っている。

1) 組織と会議

- ①組織：運営委員長1名(健康科学研究科) 委員5名(スポーツ健康学科、総合経営学科・観光ホスピタリティ学科・学校教育学科から各1名) 事務局5名
- ②運営委員会：4回 4月23日、12月4日、1月21日、2月24日(メール審議)

2) 地域貢献事業活動

地域などからの依頼を受け、本ステーションの専任スタッフ(管理栄養士、運動指導士)が実施した活動。

- ①「ヘルスアップ委員会健康セミナーからだ講座」講師 8月19日・20日
(依頼元：塩尻市ヘルスアップ委員会、参加者延べ71名)
- ②「林業作業士(フォレストワーカー)1年目集合研修」講師 9月1日
(依頼元：長野県林業労働財団、対象者33名)
- ③「トレーニングマシンを使用した健康運動教室」講師
「簡易食事診断」の作成
7月2日・3日・9日・10日・16日・17日・30日・31日、8月6日・13日・14日・20日・21日・27日・28日、
9月3日・4日・10日・11日・17日・18日・24日・25日、10月1日・2日・8日・9日・15日・16日・22日・
23日・29日・30日、11月5日・6日・12日・13日・19日・20日・26日・27日、12月3日・4日・10日・11日・
17日・18日、1月7日・8日・14日・15日・18日、2月18日・19日・25日・26日、3月4日・5日・11日・12
日・18日・19日・25日・26日
(依頼元：塩尻市社会福祉協議会ふれあいセンター広丘、参加者延べ279名、対象者8名)
- ④「健康サポート教室」講師
4月1日、6月3日・17日・24日、7月1日・15日・22日、8月5日・19日・26日、9月2日・16日・23日、10月7日・
14日・28日、11月4日、11日・25日・12月2日・16日・23日、1月6日・20日、2月17日・24日、3月3日・
17日・24日
(依頼元：エア・ウォーター東日本(株)甲信越支社 梓水苑、参加者延べ263名)
- ⑤「あかしや しっかり食べて運動しよう」講師
6月8日、7月13日、8月3日、9月7日、10月5日、11月16日、12月7日、1月4日、3月15日
(依頼元：医療法人芳州会村井病院自立訓練(生活訓練)事業所あかしや、参加者延べ151名)
- ⑥「運動バラエティバック ウォーキング講座」講師
9月9日、11月18日
(依頼元：山形村保健センターいちいの里、参加者延べ9名)
- ⑦「介護予防講座」の講師
11月26日
(依頼元：塩尻市社会福祉協議会ふれあいセンター広丘、参加者20名)

3) 松大ヘルスプロモーション事業活動

- ①「安曇野市自転車実証実験」体力測定、運動・栄養指導
6月2日・6日・23日・27日、7月18日・21日、8月29日、9月26日・29日、10月21日・24日、11月14日・
21日
(依頼元：安曇野市政策経営課、参加者延べ208名)
- ②「安曇野市介護予防事業足腰らくらくステップ教室」体力測定、運動指導
8月24日・31日、9月7日・14日・28日、10月5日・12日・19日、11月2日・9日
- ③「松本市体力健診」体力測定・運動指導
7月29日・31日、8月21日・25日、9月4日、10月3日、12月1日・5日・19日・26日、1月29日

(依頼元：松本市健康づくり課、参加者延べ 185名)

④「原村 TAGFITNESS」体力測定、栄養指導

6月18日・19日、7月21日、8月17日、9月11日、10月8日・9日・16日、11月11日・18日、12月3日、2月24日、3月4日・5日

(依頼元：原村保健福祉課医療給付係、参加者延べ 182名)

⑤「S ウェルネスクラブ松本」への派遣業務

4月7日・14日・21日・23日・28日・30日、5月7日・12日・14日・19日・21日・26日・28日、6月2日・4日・9日・11日・16日・18日・23日・25日・30日、7月2日・7日・9日・14日・16日・21日・28日・30日、8月4日・6日・11日・18日・20日・25日・27日、9月1日・3日・8日・10日・15日・17日・24日・29日、10月1日・6日・8日・13日・15日・20日・22日・27日・29日、11月5日・10日・12日・17日・19日・24日・26日、12月1日・3日・8日・10日・15日・17日・22日・24日・29日、1月5日・7日・12日・14日・19日・21日・26日・28日、2月2日・4日・18日・25日、3月2日・4日・9日・11日・16日・18日・23日・25日・30日

(依頼元：社会医療法人城西医療財団、対象者延べ676名)

⑥「出張型特定保健指導」デモンストレーション実施

10月26日・27日、3月22日・23日

(依頼元：(株)池の平ホテル&リゾート、対象者延べ15名)

⑦「ヘルスツーリズムモニター」実施

11月10日

(依頼元：(株)池の平ホテル&リゾート、対象者12名))

⑧「松本市立病院人間ドックオプションサービス・アクティブドック」体力測定、運動指導

6月25日、8月5日・6日、10月1日・28日、11月4日・5日・12日・26日、12月10日、1月14日、2月18日・25日、3月3日・25日

(依頼元：エア・ウォーター東日本(株)甲信越支社 梓水苑、対象者延べ25名)

⑨「健康経営ライブオンセミナー」実施

11月18日、2月17日

(依頼元：大塚製薬(株)、参加者およそ100名)

⑩「ホテル玉之湯健康イベント」運動指導

11月13日

(依頼元：アドコマーシャル(株)、参加者15名)

⑪「原村 春夏秋冬健康チャレンジプロジェクト」運動指導

10月22日

(依頼元：原村健康づくり課、参加者45名)

⑫「出張型特定保健指導(日本ガイシ健保)」実施

3月19日

(依頼元：株式会社池の平ホテル&リゾート、対象者6名)

4) その他

①ホームページ掲載用動画撮影と編集

(依頼元：公益社団法人長野県栄養士会)

②MG プレス「コンビニ食材でバランスよい食事」取材対応およびレシピ提供

(依頼元：MG プレス)

③SBC ずくだせテレビ「楽しく伸ばす健康寿命」出演

(依頼元：SBC 信越放送(映像出演ドットコム))

④市民タイムス「年末年始 料理で体調管理」取材対応及びレシピ提供

(依頼元：市民タイムス)

- ⑤MGプレス「受験生の夜食レシピ」取材対応及びレシピ提供

(依頼元：MGプレス)

- ⑥「北アルプス地域減塩普及啓発リーフレット」作成補助

(依頼元：長野県大町保健福祉事務所)

- ⑦「コロナに負けるな自宅のできる健康づくり」動画配信

- ⑧「販促活動」(高木建設株式会社、株式会社ホンダカーズ信州)

3月9日・29日

5) 広報活動

- ①学報「蒼穹」第139号、第140号、第141号、第142号への原稿執筆

- ②取り組みへの新聞記事取材等の対応

- ③地域健康支援ステーションホームページリニューアル

(4) 地域づくり考房『ゆめ』運営委員会

1) 考房『ゆめ』利用促進事業

- ①Twitter、Instagram、YouTubeの開設

ONE TEAMプロジェクトや学生プロジェクト等、活動の様子を各種SNSにて情報発信。

- ②2020年度地域連携事業利用実績

年間受入件数	年間参加件数	年間延参加人数
9件	1件	1人

※考房『ゆめ』事務局を通じて参加した件数

2) 学生と地域との連携による社会貢献活動のコーディネート事業

- ①学生の自主企画による活動

地域づくり学生チャレンジ奨励制度対象プロジェクト(5プロジェクト…具体的内容は後述の「3)考房『ゆめ』自主事業、4)2020年度地域づくり学生チャレンジ奨励制度」参照のこと)

- ②地域とのパートナーシップ事業(4プロジェクト)

4月～：すすはなプロジェクト

花火大会開催地区の歴史調査、広報の方法について会議、プロジェクト名を改名。

[参加/学生、すすき川花火大会実行委員会]

4月～：松本BBS会

更生保護研修、更生支援活動への参画。[学生、社会人会員、保護司会等]

4月～：松本大学サタ・プロジェクト・まつもと

クリスマスを病院や施設で過ごす子どもたちへ本を贈る活動への参画。

[参加/学生、市民団体サタ・プロジェクト・まつもと]

4月～：茶房「みずゞ屋」

新村地区巡りや、地域住民と学生の居場所となるサロンの常連と手紙を通じた交流。

[参加/学生、新村地区住民]

3) 考房『ゆめ』自主事業

- ①お手紙プロジェクト

地域に出て活動することが厳しい中で、地域住民との関係を継続できる方法を考え、4月～5月にかけて実施。学生プロジェクト8団体から63名の学生が参加し、直筆のメッセージを『ゆめ』を経由して各施

設や個人宅へ届けた。

② ONE TEAM プロジェクト

「地域を知る」ことを目的とし、7月～12月にかけて6回実施。

- ・ 第1回「地域医療とは」 7月16日(木)～31日(金)インタビュー動画配信
協力者：松本市四賀の里クリニック 院長 家田正寿先生
参加者：12名(学生9名、職員3名)
- ・ 第2回「地域資源の活用」 8月22日(土)
協力者：四賀梶原農園 梶原啓さん、梶原知子さん
四賀むらづくり株式会社 社長 金井保志さん
参加者：16名(学生10名、教職員6名)
- ・ 第3回「企業と地域住民による地域づくり」 9月19日(土)
協力者：農業生産法人 株式会社 かまくらや 代表取締役社長 田中浩二さん
四賀地区住民 佐々木清夫さん、小林透さん
参加者：22名(学生14名、教職員8名)
- ・ 第4回「食といのちを考える」 10月10日(土)
協力者：長野県南安曇農業高等学校 教諭 小池晃先生
参加者：32名(学生25名、学生スタッフ2名、教職員5名)
- ・ 第5回「いのちと平和を考える」 11月21日(土)
協力者：四賀地区住民 中島学さん、矢満田登さん、草間侃二さん、佐々木清夫さん
参加者：24名(学生20名、職員4名)
- ・ 第6回「福祉行政を学び、支え合いの仕組みを知る」 12月19日(土)
協力者：松本市四賀地区地域づくりセンター センター長 胡桃澤伸一さん
松本市北部地域包括支援センター 支援員 丸山茜さん
松本市社会福祉協議会四賀地区センター 係長 花村一枝さん
前松本市副市長 坪田明男さん
参加者：39名(学生32名、教職員7名)

4) 2020年度地域づくり学生チャレンジ奨励制度

前期審査会：10月21日(水)～28日(水)実施(審査期間内にプレゼン動画を視聴審査)

応募プロジェクト：5、認定プロジェクト：5

① ええじゃん栄村 (22,000円)

栄村の地域活性化への協力、村民との交流を深めて魅力を広めていく。

② ◎いただきます!! (40,000円)

食を通じて地域住民及び子どもとの交流を行い、食について学ぶ機会を作る。

③ あるぶすタウン (40,000円)

子どもたちが社会の仕組みを学び、地元地域に興味をもってもらう機会を作る。

④ 松本大学サント・プロジェクト・まつもと (9,000円)

クリスマスを病院や施設で過ごす子どもたちへ本を贈る。

⑤ 茶房「みすゞ屋」 (55,000円)

新村地区住民と手紙でのやりとりを通して思いに触れ、交流を深める。

報告会：新型コロナウイルスによる感染予防対策のためTeamsを使用しオンラインにて開催。

① ええじゃん栄村(交付奨励金額22,000円、収入7,500円 決算額15,582円)

- ・ 栄村小滝地区に訪問し、古道巡りや震災から復興までの軌跡等を、地域住民の方々との交流を通して知り、地域づくりについて学びを深めた。
- ・ 受け入れ先である小滝地区の樋口正幸さんへ年賀状を送った。

- ②◎いただきます!!(交付奨励金額40,000円 決算額5,816円)
- ・新村地区の生産組合であるくれき野野菜クラブと農作業を通じて交流した。
 - ・新村児童センターの児童へ、くれき野野菜クラブで収穫したもち米を使用したおはぎを作り、地域の食へ興味を持つきっかけを作った。また、食品ロスに向けた料理を考案し、レシピ作成をした。
- ③あるぶすタウン(交付金奨励金額40,000円 決算額5,768円)
- ・新型コロナウイルスによる感染予防のため開催できなかったが、子どもたちへクイズを送り、社会のしくみを学んでもらった。
 - ・クイズの景品として、回答者全員へメンバーからのメッセージや、次回あるぶすタウン開催時に使用できる小切手を送った。
- ④松本大学サタ・プロジェクト・まつもと(交付奨励金額9,000円 決算額2,832円)
- ・本の購入者(市民サタ)へ送るサタクロス認定証のデザインを考案した。
 - ・本を届ける際に使用する贈呈箱を手作りし、本と併せて寄贈した。
- ⑤茶房「みすゞ屋」(交付奨励金額55,000円 決算額27,553円)
- ・地域住民と学生が共同運営する居場所の実施は、新型コロナウイルス感染予防のためできなかったが、年間を通して手紙を送り交流を深めた。
 - ・地域住民に案内してもらい、新村地区の魅力を発見するための地区巡りを実施した。
 - ・茶房「みすゞ屋」の思い出を写真で振り返ることのできるカレンダーを製作した。

5) センター組織の整備・充実

①各種会議開催

- ・運営委員会：年2回

②広報関係

a) 本学発行物及びウェブサイトでの広報

- ・考房『ゆめ』発行物
ゆめ通信(第46号～第47号)、地域づくり考房『ゆめ』2020年度活動報告書
- ・大学広報誌
学報『蒼穹』(第139号～第142号)
- ・ウェブサイト
ゆめHPリニューアル、学生ブログによる情報発信

b) メディアでの紹介

- ・新聞

信濃毎日新聞	5月2日(土)	お手紙プロジェクト
	9月24日(木)	ONE TEAMプロジェクト
	11月26日(木)	松本大学サタ・プロジェクト・まつもと
	12月17日(木)	◎いただきます!!
- MGプレス

	10月3日(土)	茶房「みすゞ屋」
	11月24日(火)	◎いただきます!!
	11月26日(木)	松本大学サタ・プロジェクト・まつもと
- 中日新聞

	11月19日(木)	松本大学サタ・プロジェクト・まつもと
--	-----------	--------------------
- 市民タイムス

	5月2日(土)	お手紙プロジェクト
	5月30日(土)	◎いただきます!!
	8月23日(日)	ONE TEAMプロジェクト
	9月2日(水)	◎いただきます!!
	9月6日(日)	◎いただきます!!、茶房「みすゞ屋」
	9月20日(日)	茶房「みすゞ屋」

- 9月27日(日) ONE TEAMプロジェクト
 10月11日(日) ONE TEAMプロジェクト
 10月23日(金) あるぷすタウン
 10月30日(金) ◎いただきます!!
 11月24日(火) ◎いただきます!!
 11月24日(火) 松本大学サタ・プロジェクト・まつもと
 12月12日(土) 松本大学サタ・プロジェクト・まつもと
 12月20日(日) ONE TEAMプロジェクト
 12月25日(金) 松本大学サタ・プロジェクト・まつもと
- 月刊イクジィ 4月号～2021年3月号
 ONE TEAMプロジェクトや各学生プロジェクトの活動紹介

(5) 高大連携推進委員会

1) 委員会運営

本委員会の構成は例年と変わらず、総合経営、人間健康、教育、松商短大の4学部から6名の教員が委員となり、管理課に事務局を置き運営された。高大連携の取り組みは学部・学科毎に目的や方法が異なることや意思決定の迅速化の観点から、各事業は各学部・学科において委員を中心に主体的に取り組むことを前提として、事前事後において委員会全体としての情報の共有を図っている。当年度の連携事業は、昨年度と同様、総合経営学部においては県内商業高校を中心としたデパートサミット事業と飯田OIDE長姫高校との地域人教育事業、人間健康学部スポーツ健康学科の岡谷東高校との連携事業、松商短大の穂高商業高校との連携事業への取り組みが計画されていた。なお、委員会としての活動は、昨年度と同様に、情報交換を主としたメール会議を適宜開催し、必要な場合には学部を超えた相互支援を行う体制をとった。

2) 活動内容

本年度の活動は、蔓延する新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、一部活動については休止あるいは中止を余儀なくされ、また実施された多くの活動においても規模縮小あるいはオンラインで行われた。

①総合経営学部の取り組み

a)デパートサミット(マーケティング塾・デパートゆにっと)

デパートサミット事業は、長野県商業教育研究会が主催し、松本大学が共催して2013(平成25)年度より実施している県内の商業高校を中心とした高校生の人材育成事業であり、毎月1回松本大学において開催される「マーケティング塾」とその成果を検証する合同販売会の「デパートゆにっと」によって構成されている。今年度は、コロナ禍の影響による4月からの休止期間を経て、12月からの活動再開となった。

〈第9期 2020年12月～2021年10月〉

第1回12月19日(土)、第2回2月11日(木)、第3回3月13日(土)、第4回4月17日(土)にマーケティング塾をオンラインで開催した。参加校は、穂高商業、長野商業、諏訪実業、赤穂、上田千曲、小諸商業(第3回不参加)であり、各回約40名の高校生が参加した。

〈バレンタインスイーツ販売 2021年2月〉

例年通りの計画で準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。

b)地域人教育

「地域人教育」は、2012(平成24)年度から飯田長姫高校(当時)が開始した地域社会に貢献できる「人財」を育成することを目指し、高校生が地域理解を深め、地域での生き方を考え、郷土愛を育む教育プログラムであり、2012年度に飯田長姫高校、飯田市、松本大学による「地域人教育の推進に向けての3者の連携協定」を締結し実施している。

「地域人教育」は、1年次は大学教員や地域の専門家による飯田の歴史や地域資源に関する講義と街中

を歩いて地域の魅力や課題を把握する「フィールドスタディ」を通じた「地域を知る」、2年次は地域のイベントへの参加や商品開発、情報発信を行う「地域で活動する」、3年次はグループごとに地域課題について地域と連携して解決に取り組む「地域の課題解決に向けて行動する」という3年間で8単位、280時間の正課のカリキュラムによって構成されている。

本年度は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、その活動を見合わせてきたが、感染状況が比較的抑制された、10月21日(水)に、1年生を対象とした松本市街地におけるフィールドワークを実施した。参加生徒は79名であった。

c)地域づくり考房ゆめ「ONE TEAMプロジェクト」による南安曇農業高校との連携

地域づくり考房ゆめの主催により地域理解の一環として、10月10日(土)に、本学学生20名が南安曇農業高校を訪問し、「食といのちを考える」をテーマとして、同校教諭より指導を受けた。

②人間健康学部の取り組み

スポーツ健康学科では、2007(平成19)年度に岡谷東高校との連携についての話し合いが行われ、翌年6月には試行的に高校生が大学の講義を受講し、同年12月に正式に人間健康学部スポーツ健康学科と岡谷東高校との連携協定を締結し、本格的な連携事業がスタートした。試行的な活動も含めれば、今年度は12年目の活動となった。具体的には、年2回同校1・2年生が本学を訪れ、模擬講義の受講及びキャンパスライフ体験を通じて、大学での「学び」や「生活」について理解する「大学授業チャレンジ型連携」と、本学科の学生が岡谷東高校を訪問し、同校の保健体育の授業に参加し、研修を通して高校教育現場を実体験する「教員実務参加型プログラム」がある。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響から、「チャレンジ型」については10月27日(火)の半日1回のみ実施となり、参加生徒は1年生27名、2年生25名となった。また「教員実務参加型」については中止となった。

③松商短期大学部

a)大学授業チャレンジ型連携

高校の夏休み、春休みを利用して、本学教員の教育資源を活用した大学の経済・ビジネス系等の専門科目の受講および学食利用、教室移動等の具体的なキャンパスライフの疑似体験を通して、高校生の勉学意欲及び進学意欲の高揚を図ることを狙いとした連携である。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、3月16日(火)～18日(木)の3日間のみオンライン実施となり、穂高商業高校2年生120名が参加した。また、松商学園高校商業科についても1年生86名、2年生77名が3月15日(月)に来学予定であったが、直前に、同校内で感染者が確認され中止となった。

b)高校授業グレードアップ型連携

穂高商業高校においてすでに日商2級レベルに達している3年生徒を対象として、本学教員2名が同校に週1回出向いて日商1級レベルの「会計学」「原価計算」の講義を行う取り組みであり、高いレベルの学習への意欲促進を狙った連携である。

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で休止となった。

5. 学生センター部門

A：教育活動支援

(1) 全学教務委員会（構成員：委員8名、事務局8名 計16名）

各学部選出委員及び教務課職員を構成員とする全学教務委員会は、短期大学部も含めた教学に関わる学部横断的課題・事項に関する審議・決定機関である。日常的には教務関連事項の円滑かつ適切な運営に力を注ぎつつ、教学を巡る学内外の動向を的確に捉え、その充実に必要な諸課題を把握し対応に努めること、及び各種報告事項についても適宜取り扱い、情報の全学的共有を図るべく努めている。

今年度(2020年度)もまた、日常的な教務関連事項の円滑な推進に取り組むとともに、それに伴って生じた諸課題について慎重に審議・決定することを中心に、各種報告事項についても適宜・適切に周知を図るべく努めてきた。なお、今年度(2020年度)については、新型コロナウイルス感染症への対応に多くの時間を割かざるを得ず、学事日程の変更、オンライン授業の展開などといった例年とは異なる大きな課題を解決すべく検討を重ねてきた。

以下、「1)今年度実施した事業・活動」として、①全学的に共通する教学関連事項の検討・決定、②次期認証評価及び私立大学等改革総合支援事業への対応、③テーマ別教学関連事項、④その他日常業務の4点に整理して、今年度の事業・活動状況の概略について記述する。また「2)委員会開催」として、年間を通して開催された会議において審議・承認された事項及び主たる報告事項を挙げておく。

1) 今年度実施した事業・活動

①全学的に共通する教学関連事項の検討・決定

(新型コロナウイルス感染症関連)

- ・前期開講日変更への対応として、履修申請のスケジュールを検討し、決定した。
- ・前期の授業形態をオンライン授業へ変更することへの対応として、オンライン授業(Teams)の展開方法、実験・実習系科目への対応、定期試験の実施方法、成績評価の方法、成績発表までのスケジュール等を検討し、決定した。
- ・後期の授業形態を対面授業とオンライン授業を併用することへの対応として、履修申請のスケジュール、授業実施に伴う注意事項、教室収容率50%を前提とした教室の再割り当て、履修希望者が教室収容率50%を超過した場合の抽選方法、定期試験の実施方法、成績評価の方法等を検討し、決定した。
- ・2021年度前期の授業形態、履修関係のスケジュール等を検討し、その方向性を決定した。

(上記以外)

- ・教務予算申請・執行のルールについて改善策を検討し、決定した。
- ・新たに導入されるLMSの利用方法を検討し、教員向け説明会を開催した。
- ・次年度より始まる授業目的公衆送信保証金制度(サートラス)について周知徹底を図った。

②次期認証評価及び私立大学等改革総合支援事業への対応

- ・全学的に3ポリシーの再確認を促すと同時に、アセスメントポリシー、認証評価のエビデンスとなる各種データ等について整理を依頼し、次期認証評価に備えた。
- ・シラバスの形式の一部変更に合わせて、メソフィアの入力画面の修正を行うと同時に、教員への周知徹底を図った。

③テーマ別教学関連事項

a) 共通教養

- ・次期認証評価・教育学部完成年度のタイミングを念頭に置きながら、分野別にワーキンググループを設置し、共通教養科目の再検討を進めた。その検討結果を踏まえながら、全学教務委員会として新しいカリキュラムを決定した。

b) 資格取得支援

- ・各学部のカリキュラムの変更に合わせて、資格取得奨励金対象資格の見直しを実施した。
- ・資格取得奨励金の基準・金額の見直しを実施した。

c) キャリア教育

- ・今年度はなし

④ その他日常業務

- ・各種オリエンテーションの企画と実施
- ・健康日記(アプリ)の導入・運用
- ・プレイスメントテストの実施・分析
- ・教室収容率50%に対応した科目別座席表の作成・掲示
- ・欠席調査の実施
- ・期末授業アンケートの実施
- ・成績発表後の成績不審者に対する全学的対応の共有及び指導記録の整理
- ・オフィスアワー実施記録の提出催促と整理
- ・オンライン授業に対するアンケートの実施(学生用、非常勤講師用)
- ・年間予定のうち開講日の決定及び次年度準備
- ・次年度の各学部カリキュラムと時間割の情報交換及び兼任依頼等に関する調整
- ・シラバスの点検作業
- ・適切な出席管理に関わる全学共通ルールの周知徹底
- ・転学部・転学科試験の実施

2) 委員会開催

第1回 4月3日(金)10:00~11:50 欠席なし

〔審議事項〕

- ①2020年度の課題
- ②教員ポータルシステムへのアクセス環境について
- ③総合英語のクラス分けについて(INTクラス)
- ④教務予算申請、執行の改善について
- ⑤前期開講日変更への対応について

〔報告事項〕

- ①3ポリシーの見直しについて
- ②2021年度年間予定表について
- ③2019年度卒業状況について
- ④欠席調査について
- ⑤LMSについて

第2回 5月6日(水)13:00~14:00 欠席なし

〔審議事項〕

- ①閉講科目について
- ②履修抹消期限について
- ③開講にあたっての注意について
- ④科目のクラスサイズについて
- ⑤能力別クラス分けされている科目の運営について
- ⑥欠席調査について

〔報告事項〕

- ①教員ポータルシステムへのアクセス環境について
- ②LMSについて

③その他

第3回 6月3日(水)17:00~19:00 欠席なし

〔審議事項〕

- ①授業運営について
- ②後期オリエンテーションについて
- ③共通教養科目の見直しについて
- ④学生及び非常勤講師向けオンライン(遠隔)授業アンケートについて
- ⑤その他

〔報告事項〕

- ①シラバスフォーマットについて
- ②授業アンケートについて
- ③LMSについて(導入状況の報告)

第4回 7月1日(水)17:00~18:30 欠席なし

〔審議事項〕

- ①前期成績報告スケジュールについて
- ②後期履修スケジュールについて
- ③後期授業の開始に向けての検討について
- ④後期オリエンテーションについて
- ⑤前期科目のうち、開講を延期した科目の対応について

〔報告事項〕

- ①前期成績にかかる非常勤講師への通知について
- ②共通教養科目ワーキンググループでの検討状況について
- ③後期復学相談について
- ④メソフィアシステムについて
- ⑤学生及び非常勤講師向けオンライン(遠隔)授業アンケートについて
- ⑥授業アンケートについて
- ⑦LMSについて
- ⑧次年度準備について

第5回 8月5日(水)17:00~19:00 欠席なし

〔審議事項〕

- ①後期履修スケジュールについて
- ②後期授業の開始に向けての検討について
- ③総合英語Ⅱ INTクラスについて
- ④共通教養科目ワーキンググループの検討状況について
- ⑤その他

〔報告事項〕

- ①私立大学等改革総合支援事業について
- ②次期認証評価について
- ③教務予算について
- ④オンライン(遠隔)授業に関する学生向けアンケート結果及び非常勤講師向けアンケート内容について
- ⑤前期(2学期)期末授業アンケートについて
- ⑥教職課程1年生新規履修申請者(総経・人間)について
- ⑦Teamsのチーム設定について
- ⑧授業で使用するマイクについて
- ⑨LMSについて

⑩次年度準備について

第6回 9月4日(金)10:00~12:15 欠席なし

〔審議事項〕

- ①後期授業関連での検討事項について
- ②共通教養カリキュラムの検討について
- ③2021年度兼担依頼について
- ④2021年度オリエンテーションについて

〔報告事項〕

- ①オンライン(遠隔)授業に関する非常勤講師向けアンケート結果について
- ②前期(2学期)期末授業アンケート結果について
- ③授業で使用するマイクについて
- ④LMSについて
- ⑤教育実習にかかわる欠席配慮について
- ⑥次年度準備について

第7回 10月7日(水)16:50~18:20 欠席なし

〔審議事項〕

- ①後期授業関連での検討事項について
- ②共通教養カリキュラムについて(確定)
- ③今年度補正予算・次年度予算の編成について
- ④2021年度年間予定表について

〔報告事項〕

- ①後期履修状況について
- ②欠席調査について
- ③文部科学省が定める学修等による単位認定申請書様式について
- ④次年度準備について

第8回 11月2日(月)16:50~18:30 欠席なし

〔審議事項〕

- ①2020年度補正予算・2021年度予算について
- ②2021年度カリキュラムについて
- ③2021年度時間割について
- ④2021年度兼担依頼について
- ⑤2021年度年間予定表について
- ⑥2021年度シラバス入稿の手引きについて
- ⑦転学部転学科について
- ⑧教学システム変更の検討について
- ⑨「宅地建物取引士」資格について
- ⑩次期認証評価対応について
- ⑪資格奨励金の適用について

〔報告事項〕

- ①後期試験について
- ②後期授業アンケートについて
- ③授業目的公衆送信保証金制度について
- ④次年度準備について

第9回 11月30日(月)16:50~17:50 欠席なし

〔審議事項〕

- ①2021年度カリキュラムについて
- ②2021年度時間割について
- ③2021年度兼任依頼について
- ④2021年度授業形態について
- ⑤複数教室にまたがる授業の実施に必要となる教室設備について
- ⑥2021年度資格取得奨励金について

[報告事項]

- ①2021年度教務委員会スケジュールについて
- ②後期定期試験スケジュールについて
- ③第2回欠席調査について
- ④TOEIC 課外講座について
- ⑤次年度準備について

第10回 1月4日(月)16:50~18:20 欠席1名

[審議事項]

- ①2021年度カリキュラムについて
- ②2021年度時間割について
- ③2021年度兼任依頼について
- ④共通教養科目非常勤講師について
- ⑤行政キャリア論Ⅱ(共通教養科目)について
- ⑥2020年度補正予算・2021年度の予算について
- ⑦2021年度の授業形態について
- ⑧複数教室にまたがる授業の実施に必要となる教室設備について
- ⑨2021年度資格取得奨励金について
- ⑩対面試験免除願について
- ⑪後期定期試験(オンライン)について
- ⑫授業出席確認の方法について
- ⑬年間予定について

[報告事項]

- ①復学相談について
- ②就職活動に伴う証明書の発行について
- ③シラバス入稿について
- ④授業評価アンケートについて
- ⑤次年度準備について

第11回 2月1日(月)10:00~10:45 欠席1名

[審議事項]

- ①2021年度時間割について
- ②2021年度シラバス点検について
- ③共通教養科目非常勤講師について
- ④2021年度の授業実施方法及び前期開講までの履修関係のスケジュールについて
- ⑤2021年度資格取得奨励金について

[報告事項]

- ①2021年度予算について
- ②2021年度後期追試験について
- ③成績不審者の全学的対応及び指導記録・OHについて
- ④新年度に向けた学籍異動について

- ⑤授業出席確認の方法について
- ⑥情報モラル教育(ICTメディアリテラシーの育成)の推進者育成を目的とした講義・講演について
- ⑦転学部・転学科試験について
- ⑧適切な出席管理について
- ⑨LMS教員向け説明会について
- ⑩次年度準備について

第12回 3月9日(火)10:00~12:15 欠席なし

〔審議事項〕

- ①2021年度前期開講までの履修関係のスケジュールについて
- ②履修上限単位(CAP)を超えて履修登録された学生への対応について
- ③共通教養科目の再試験取り扱いについて
- ④次年度における新入生に対する面談の取り組みについて
- ⑤就職支援ガイダンスの扱いについて

〔報告事項〕

- ①授業目的公衆送信保証金制度(サートラス)について
- ②他学科免許履修支援プログラム許可者について
- ③情報モラル教育(ICTメディアリテラシーの育成)の推進者育成を目的とした講義・講演について
- ④在学生オリエンテーション及び新年度オリエンテーションについて
- ⑤科目担当者が複数の場合の成績評価について
- ⑥2020年度のTeams削除について

以上

3) 基礎教育センター (構成員：教員7名・センター専門員4名、事務局員2名 計13名)

基礎教育センターは、4名の専門員と1名の事務職員が常駐し業務を行っていることから、その円滑な遂行のために「スタッフ会議」と称する打合せと調整を主たる内容とする会議を設け、専門員による授業補助や各種課題の実施希望及び提出・返却方法などについて確認するなど、各学部・学科との円滑な関係の確保に努めた。

「いつでも 誰でも 気軽に立ち寄り 共に学び 教えあう」を基礎教育センターの標語としているが、2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、大学入構が制限され、「気軽に立ち寄り 教えあう」ことが難しい状況となった。しかし、Microsoft Teamsを利用した基礎教育センター朝の学習講座(9時~9時30分)を6月1日より遠隔講座として開始し、前期45回実施した。オンライン授業と朝の学習講座は親和性が高く、受講票を提出した学生数は2,069名(学部生1780名、短大生289名)、朝の学習講座開設以来、最も多い受講者数を記録した。2019年度は前期70回、参加者数は676人のため、対前年比で3倍の学生が参加した。後期は対面とオンラインとの併用の授業となり、朝の学習講座も11月2日より対面とオンラインとの併用の講座となった。後期69回、参加者数は397名(学部生310名、短大生87名)であった。

朝の学習講座以外の実績としては、各学部・学科から依頼のあった授業：7講座、授業以外：1講座、及びプリント・テスト作成：5件、課題の作成・回収・返却：春期4件・入学前5件・夏期5件(単位は学部または学科または学年)となっている。以下にスタッフ会議の内容を記述しておく。

スタッフ会議

第1回 5月28日(木)~6月1日(月)(メール審議)

【審議事項】

- ①基礎教育センターがコロナ禍においてどのように活動できるかの具体的な方法論について

【報告事項】

- ①現状報告

②今年度の基礎教育センターが関わる授業、課題について

第2回 6月25日(木)9:40～10:30

【審議事項】

- ①「夏期課題問題集」の実施について
- ②「入学前学習用問題集」の回収と結果返却について
- ③「春期課題問題集」の回収と結果返却について

【報告事項】

- ①「朝の学習講座」実施状況について

第3回 2月2日(火)9:40～10:20

【審議事項】

- ①基礎教育センター専門員の学内における非常勤講師と学外業務について(2021年度)
- ②次年度「朝の学習講座」実施方法について(アンケート結果添付)

【報告事項】

- ①朝の学習講座、センター利用について

2020年度の利用人数についての報告。

・朝の学習講座

月曜：英語、火・水曜：数学、木曜：社会、金曜：国語

前期 45回 学部 1,780名 短大 289名 Microsoft Teamsで実施

後期 69回 学部 310名 短大 87名

・来室人数4月～1/31まで 学部 200名 短大 10名

- ②今年度の基礎教育センターが関わった授業、課題について

授業7件、授業以外1件、プリント・テキスト作成5件、課題 夏期5件・春期4件・入学前5件

- ③来年度の確認について

次年度の授業サポート・課題についての確認。

- ④意見交換

スタッフ会議のあり方や授業での要望等について意見交換。

(2) 公務員試験対策講座運営委員会 (構成員：教員5名・事務職員8名 合計13名)

本委員会は教員5名(委員長1名、各学部1名、短大部1名)と事務職員8名によって構成されており、公務員を目指す学生を支援することを目的に、(株)東京リーガルマインド(LEC)と提携した公務員試験対策講座(以下、「対策講座」という)を開講し、その円滑な運営が行えるように活動を行っている。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大により、本対策講座に関しても実施計画から大きな変更を余儀なくされた。その対策審議も含めて2回の委員会を開催し、日常的に(株)LEC東京リーガルマインド担当者と密なミーティングを行って意思疎通を図り、学生の学力向上と公務員試験合格のために活動を行った。以下、1)委員会開催と、2)事業・活動として本委員会の活動について報告する。

1) 委員会開催

第1回 4月17日(金)～4月20日(月)(メール審議)

〔審議事項〕

- ①2020年度公務員試験対策講座運営について

〔報告事項〕6月11日(木)メールによる報告

- ①2020年度公務員試験対策講座受講者について

第2回 11月13日(金) 13:30～14:20

〔審議事項〕

- ①次年度の講座編成について

②公務員試験合格者に対するインタビュー実施及びそのパンフレットへの掲載について

[報告事項]

- ①2020年度公務員試験対策講座受講者数と運営について
- ②公務員採用試験状況について
- ③次回以降の委員会出席者について
- ④教員採用試験対策講座について

2) 事業活動

①(株)東京リーガルマインド(LEC)と提携した公務員試験対策講座

対策講座は計画どおり実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により、4月の正課授業の開講が延期、5月の連休明けよりすべてオンラインによる実施となったため、前期の講座に関しては、急遽WEB講座システムのみでの運営に変更して実施することとなった(表1)。ただしすでに2月より開講していた「合格講座(4年生対象)」は試験直前という重要性から安全性に配慮しながら学内にて対面で実施した。受講者の募集に関しても、対面でのガイダンスは実施できず、募集期間を変更し、WEB上での募集のみとなったが、合計183名と昨年度の151名よりも受講者が増加する結果となった。特に「SPI・公務員入門」講座の増加(昨年度42名に対し今年度は61名)及び「教養講座B(学部3年)」の増加(昨年度16名に対し今年度27名)が目立っている。なお、後期には状況が改善され対面及びオンラインで対策講座を実施した。

また、昨年度より講座の一環として位置付けた面談・面接についても引き続き実施し、個人面談は延べ68名(昨年度228名)、面接対策は延べ50名(昨年度60名)の受講者が利用した。

費用に関しては、受講料収入が合計で5,896,000円に対し、支出が6,987,200円であり、差額の1,091,200円が大学負担となった。年度当初の見積りよりも約100万円大学負担金が減少したが、前期のWEB講座への変更により講座単価が下がったこと及び受講者数の増加の結果であった。

表1 2020年度に実施した公務員試験対策講座

講座名	開講期間(※)	対象学部・学年	コマ数
SPI・公務員入門	前期5/12～7/14、後期10/1～1/21	学部1年	25
教養講座A	前期5/8～8/18、後期9/28～1/18	学部2年・短大1年	30
教養講座A(集中)	夏期9/7～9/17、春期2/10～2/24	学部2年・短大1年	30
教養講座B	前期5/7～8/19、後期10/1～1/21	学部3年	30
専門講座	前期5/13～8/20、後期9/30～2/3	学部3年	40
実践講座	前期5/11～8/27	短大2年	25
合格講座	前期2/22～6/2	学部4年	40

※前期・夏期はWEB講座、後期・春期は対面またはオンラインで実施。合格講座はすべて対面で実施。

②公務員試験ガイダンス

例年実施されている4月のガイダンスに関しては、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、実施できず、メール等によるオンラインでの募集となった。

(3) 全学教職センター運営委員会

1) 会議開催

【全学】 ※…メール審議、○…オンライン会議

・全学教職センター運営委員会(全7回) 4/1(水)※、4/23(木)※、6/5(金)○、8/27(木)※、10/8(木)○、11/20(金)※、12/23(水)

【総合経営学部・人間健康学部】 ※…メール審議

- ・総経・人間教職センター会議(全3回) 5/28(木)※、11/9(月)※、2/22(月)※
- ・教職センタースタッフ会議(全12回) 4/3(金)、4/23(木)○、5/26(火)○、7/7(火)○、8/4(火)○、9/1(火)○、10/6(火)○、11/3(火)○、12/1(火)○、1/5(火)○、2/10(水)○、3/2(火)○

【教育学部】 ※…メール審議、○…オンライン会議

- ・教育学部教職センター会議(全15回) 4/3(金)、4/28(火)○、5/6(水)○、6/3(水)○、7/2(木)○、8/5(水)○、9/2(水)○、9/14(月)○、10/7(水)○、11/4(水)○、12/2(水)、1/7(木)○、2/9(火)○、2/17(水)、3/4(木)
- ・学校ボランティア活動担当者会議(全2回) 4/1(水)、2/10(水)○
- ・学校インターンシップ科目担当者会議(全3回) 6/25(木)○、7/8(水)○、9/9(水)
- ・特別支援教育科目担当者会議(全10回) 4/7(火)、5/7(木)、6/12(金)○、7/9(木)○、9/18(金)○、10/22(木)、11/25(水)、12/24(木)、1/21(木)○、2/8(月)○、3/10(水)

2) 教員免許状更新講習

- ・2020年度の更新講習は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、全て中止とした。

3) 2021年度 公立学校教員採用試験結果

【現役生】

長野県小学校	5名
岐阜県小学校	1名
新潟県小学校	4名
静岡県小学校	3名
北海道小学校	1名
長崎県小学校	1名
鳥取県小学校	1名
相模原市小学校	1名
札幌市小学校	1名
長野県養護教諭(小・中・特別支援)	1名
長野県特別支援学校	1名

以上 人間健康学部2名、教育学部12名(延べ18名)合格

【卒業生】

2014年度卒業生	静岡県小学校
2016年度卒業生	長野県高等学校 養護教諭
2017年度卒業生	長野県小学校
2017年度卒業生	長野県高等学校 養護教諭
2017年度卒業生	山梨県中学校 保健体育
2018年度卒業生	山梨県小学校
2020年度卒業生	長野県高等学校 商業

以上7名合格

4) 教員免許状取得数

校種	教科	総経	観光	栄養	スポーツ	学校教育	大学院	計
小学校					1(※1)	52		53
中学校	社会		5			1(※1)		6
	保健体育				11		1(※2)	12
	保健				3			3
	英語					2(※1)		2
高校	公民		4					4
	地理歴史		5					5
	情報	1						1
	商業	1						1
	保健体育				11		1(※2)	12
	保健				3			3
養護教諭					6		6	
栄養教諭				1			1	
特別支援(知・肢・病)						30		30
計		2	14	1	35	85	2	139

※1…二種免 ※2…専修免

5) 教育実習実施者数

学部	学科	3年人数	4年人数
総合経営	総合経営		1
	観光ホスピタリティ		5
人間健康	健康栄養		1
	スポーツ健康		18
教育	学校教育	60	33
計		60	58

6) 全国私立大学教職課程研究連絡協議会等主催の諸活動への参加

- 8月25日(火) 教員免許事務勉強会(オンライン)出席：田嶋・河合
 9月17日(木) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 第1回北部地域協議会
 (オンライン)出席：大蔵・田嶋・河合
 10月24日(土) 大学教務実践研究会オンライン研修 出席：河合
 12月18日(金) 教職課程認定に関する事務担当者説明会(オンライン)出席：田嶋・河合

7) 教職センター活動

【全学及び総経・人間教職センター関係】

- 4月7日(火) 新3年生教育実習ガイダンス

- 4月8日(水) 新4年生教育実習ガイダンス
 4月13日(月)～ 教員免許状更新講習 受付中止(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため)
 5月28日(木) 教員採用試験一次試験面接対策講座をオンラインで開催(総経・人間)
 6月9日(火) 梓友会フォローアップ開催(オンライン)
 6月15日(月) 教員採用試験一次試験面接対策講座をオンラインで開催(総経・人間)
 6月16日(火) 上越教育大学大学院機関長推薦説明会開催(オンライン)
 6月23日(火) 1年生新規教職履修希望者へのガイダンス(総経・人間(栄養))
 6月25日(木) 教員採用試験一次試験面接対策講座をオンラインで開催
 6月26日(金) 第1回オンライン梓友会開催
 6月30日(火) 1年生新規教職履修希望者へのガイダンス(人間(スポーツ))
 7月11日(土)・12日(日) 長野県教員採用一次選考試験
 7月13日(月) 信濃教育会会長と面談
 7月16日(木) 教員採用試験報告会
 7月17日(金) 松本市教育委員会訪問(田嶋・河合)
 7月29日(水) 介護等体験入門ガイダンス
 8月4日(火) 長野県教員採用選考第一次合格発表
 8月17日(月) 教育実習前CBT試験
 8月19日(水) 教職センター打合せ(参加:田嶋・河合)
 8月25日(火) 教員免許事務勉強会(オンライン)出席(田嶋・河合)
 9月10日(木) 4年生オンラインガイダンス
 9月17日(木) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 第1回北部地域協議会(オンライン)出席(田嶋・河合)
 9月23日(水) 後期オリエンテーション(総経1年生)
 9月24日(木) 後期オリエンテーション(人間1年生)
 10月1日(木) 長野県教員採用選考第二次合格発表
 10月15日(木) 明星大学免許取得支援プログラムガイダンス
 10月21日(水) 教員免許状一括申請説明会出席 於:長野県庁(田嶋・河合)
 10月23日(金) 京都市教育委員会訪問(田嶋)
 10月28日(水)～ 臨時採用講師希望者名簿依頼 各小中学校(石井・佐藤)
 10月30日(金) 長野県教員免許状更新講習に関する関係者打合せオンライン会議出席(田嶋・河合)
 11月18日(水) 教員免許状一括申請説明会
 12月15日(火) デジタル教科書オンライン説明会出席(田嶋・河合)※東京書籍
 12月18日(金) 教職課程認定に関する事務担当者説明会出席(田嶋・河合)
 12月18日(金) ロイロ・ノートオンラインセミナー
 12月21日(月) 他学科免許履修支援プログラム説明会
 1月7日(木) 教育実習前CBT試験
 1月22日(金) 1年生履修カルテ説明(総経人間)
 3月4日(木) 赴任直前講座
 3月4日(木) 教採合格者激励会
- 【教育学部】ガイダンス**
- 4月7日(火) 3年生教職ガイダンス
 4月8日(水) 2年生教職ガイダンス
 5月14日(木) 教員採用一次試験対策講座開催
 5月14日(木) 特別支援学校教育実習事前指導
 5月26日(火) 1年生教職ガイダンス

- 5月27日(水) 教員採用一次試験対策面接講座開催
 6月3日(水) 1年生教職ガイダンス(フォローアップ)
 6月15日(月) 上越教育大学大学院機関長推薦説明会開催(オンライン)
 6月24日(水) 教員採用一次試験対策面接講座開催
 7月7日(火) 1年生教職ガイダンス
 7月11日(土)・12日(日) 長野県教員採用選考第一次選考
 7月14日(火) 2年生教職ガイダンス
 7月14日(火) 1年生インターンシップガイダンス
 7月15日(水) 3年生特別支援学校教育実習事前ガイダンス
 7月20日(月) 総経・人間健康学部3年生初等教育実習ガイダンス
 7月21日(火) 教員採用一次選考試験報告会
 7月24日(金) 3年生特別支援学校教育実習事前ガイダンス
 7月29日(水) 1・2年生履修カルテ説明会
 8月5日(水) 教職入門ゼミ(履修カルテ説明)
 8月6日(木) 2年生介護等体験入門
 9月23日(水) 3年生教育実習ガイダンス(オンライン)
 10月21日(水) 1年生副免ガイダンス
 10月28日(水) 1年生学校インターンシップガイダンス
 11月11日(水) 1年生学校インターンシップガイダンス
 11月12日(木) 教採対策講座
 11月25日(水) 4年生教員免許状一括申請ガイダンス(配布)
 12月9日(水) 1年生学校インターンシップガイダンス
 12月16日(水) 4年生教員免許状一括申請ガイダンス(回収)
 1月6日(水) 1年生学校インターンシップガイダンス
 1月18日(月) 1年生学校インターンシップガイダンス(オンライン)
 1月20日(水) 1年生教職履修カルテ説明
 1月20日(水) 4年生卒業生オリエンテーション
 1月28日(木) 2年生中等教育実習ガイダンス
- 【教育学部】訪問・依頼・説明**
- 4月13日(月) 安曇野市校長会
 4月21日(火) 塩筑校長会出席
 5月1日(金) 長野県寿台養護学校訪問(矢野口)
 5月15日(金) 長野県寿台養護学校訪問(矢野口)
 ※特別支援学校校長会での2021年特別支援学校教育実習についての説明と依頼
 7月17日(金) 松本市教育委員会訪問(山崎・田嶋・河合)
 8月31日(月) 長野県特別支援学校校長会表敬訪問(矢野口) ※特別支援学校教育実習について
 10月14日(水) 長野県庁訪問(矢野口) ※教育学部タイムズ配布、教育実習の報告とお礼
 11月6日(金) 長野県小中特校長会訪問(矢野口) ※講師希望者情報の提供と説明
 11月24日(火) 上田市教育委員会訪問(征矢野) ※来年度のインターンシップについて
 11月25日(水) 塩尻市教育委員会訪問(征矢野・高山) ※来年度のインターンシップについて
 11月25日(水) 長野市教育委員会訪問(岸田・秋田) ※来年度のインターンシップについて
 11月26日(木) 安曇野市教育委員会訪問(岸田・矢野口) ※来年度のインターンシップについて
 2月1日(月) 伊那市立西春近南小学校訪問(征矢野) ※学生情報の共有のため
 2月16日(火) 安曇野市教育委員会訪問(高山) ※教育実習のお礼と来年度の依頼のため
 3月5日(金) 長野県庁訪問(矢野口) ※県教育委員会と県特別支援学校校長へ教育実習の報告とお礼

【教育学部】その他

- 8月24日(月)～ 2年生介護等体験開始
- 8月31日(月)～ 3年生初等教育実習参観訪問開始
4年生特別支援学校教育実習参観訪問開始
- 2月1日(月)～ 1年生次年度学校インターンシップ内諾訪問開始

(4) 情報センター運営委員会

情報センターでは、主に研究・教育へのICT支援、情報機器の維持・管理、セキュリティ対策といった3つの業務を担い実施した。

1) 研究・教育へのICT支援

PC教室整備、コンピュータ関連科目支援、オリエンテーション実施

2) 情報機器の維持・管理

ネットワーク、サーバ類の維持管理、教職員PCの管理、貸出ノートPCの管理

3) セキュリティ対策

情報センターの業務方針を定めている運営委員会は、2020年度は4月、6月、10月、1月に開催された。委員会では上記3つの業務に関わる事項について議論した。以下に、これらについて報告する。また、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の防止策の1つとしてオンライン授業を実施したが、これに関する取り組みも併せて報告する。

① 教員のノートPC化

学内の情報化が進むとともにシステムが増加していることや将来において情報基盤のインフラ整備に費用が掛かることが予測されることから、コスト削減策の1つとして、教員用PCのノート化を進める案について議論した。現状では、各教員にはデスクトップPCとiPadが各1台配付されているが、これをノートPCに1本化しようとするというものである。5年計画で推進した場合、1,600万円ほどの購入費用とセッティングにかかる工数が105日程コストカットできるとの試算から、全学で取り組む方向となった。

② 教室系情報機器類の改善とコスト軽減

これまで、PC教室のOSはアプリケーションとの互換を保つ必要があったことから、Windows10とWindows7を併用していた教室が残っていたが、これをすべてWindows10に統一した。

PC教室の復元システムについて、これまで「銀河計画」というシンクラシステムを導入していたが、このシステムの製造元が事実上倒産してしまったことから、代替として「バーチャルリカバリー」というシステムに入替え311、312の2教室を整備した。これを機に、他のPC教室にも同システムを順次入れ替えることとした。

コスト削減に関して、まず、総合経営学部開学時に5号館の一部の教室に整備した情報コンセントについて、学内Wi-Fiが主流となった現在では利用機会が皆無に近いことから廃止することとした。また、ロケーションプリンタ(IOゲート)とPC教室用のプリンタについて、これまでの利用状況を踏まえて、ユーザーに支障が出ないと判断した機器について1台を削減することとした。

また、本学教員からeduroam(学術無線LANローミング基盤)導入の依頼があったことを受け、導入の是非について検討したが、管理面や需要状況を鑑みて一旦保留とし、今後需要が高まってきたところで再検討することとなった。

本学のネットワーク環境の改善策として、上流への接続を2系統にして安定化を図る検討をした。現行の回線に加え、国立情報学研究所(NII)が運営する学術情報ネットワークSINET6に接続することについて審議をし、2022年度から導入を実現すべく2021年春までに接続申請をすることを決めた。

SINET6を導入することによって、ますます増大するネットワーク回線利用に対応できる、インシデント発生時に回線の切り替えが可能となる上、回線利用料が安価であるといったメリットが期待できる。

③ サイバーセキュリティ対策

文部科学省より、2022年3月までに次の3項目が要求されていることを踏まえ、委員会で検討を始めた。

- ・「サイバーセキュリティ対策基本計画」の策定
- ・サイバーセキュリティ対策推進のための組織・体制の整備
- ・情報セキュリティポリシー及び手順書の策定

本学及び法人、松商学園高等学校、松本秀峰中等教育学校にそれぞれCSIRT (Computer Security Incident Response Team) が設置されたが、各組織と連携しながらこれらの項目について取り組んでいくこととなった。今年度は、学園全体や本学内において情報セキュリティインシデントが発生した際の具体的な対応方法について要領としてまとめ、発生したインシデントのレベルに応じた報告先や対応策を定めた。

また、10月初旬に本学のサーバを標的としたDDoS攻撃(分散型サービス妨害攻撃)を受けるというインシデントが発生した。本学のゲートウェイはアウトソーシングの形で学外のサービス企業側に設置されているが、本学システムの上位にあるシステム上での障害であったため、限定的な対策にとどまった。応急的な対策として、緊急用にルーターを5台整備した。

④オンライン授業支援

今年度は新型コロナウイルス感染症対策として、新型コロナウイルス感染症対策本部と連携しながら、オンライン授業のための技術的な環境整備や支援策について検討・実施を進めた。具体的には、オンライン会議システムとしてMicrosoft Teamsを採用し、ユーザーへのマニュアルの作成や説明会の実施に関わる事項や質問等への対応を行うとともに、履修登録に合わせたアカウント登録などの作業を同時並行で進めた。

前期はすべての授業がオンラインで実施され、夏休み以降からは対面とオンラインを併用する形で進められた。TeamsやWebカメラの取り扱いについて教員向けに解説動画を作成するなどの支援を行った。

また、2021年度新生生に向けてPCの購入やWi-Fi導入を勧める案内を全学共通の文書として出すこととした。学生が円滑にオンライン授業を受ける準備ができるように文面には推奨スペックなどを盛り込んだ。

(5) 図書館運営委員会

1) 組織

総合経営学部教員2名、人間健康学部教員2名、教育学部教員1名、短期大学部教員1名(館長兼務)、事務局1名・業務委託7名

2) 委員会開催

4月22日(水) 10:00~10:35

- ①松本大学図書館情報機器利用規程について、貸出用ノートパソコンの事務手続きの簡素化に伴う変更等審議を行い承認された。
- ②新型コロナウイルス感染症に伴う図書館の対応について報告された。
- ③2019年度利用統計、雑誌の除籍・再配架作業の開始について、2020年度活動計画が報告された。
- ④教職員の延滞について、学生同様に行いたい旨が報告された。

7月8日(水)メール会議

- ①「図書館規程」の修正案について、「規程の改廃は、当委員会および全学協議会の議を経て理事会が行う」の一文を追加し、全員一致で承認された。
- ②「図書館運営委員会規程」制定について、全委員会規程の形式と整合性をとる委員会規程を制定し、審議した結果、全員一致で本案を認めた。

7月22日(水) 13:30~14:05

- ①新型コロナウイルス感染症対策について、現在までの図書館の対応が報告された。
- ②図書館所蔵雑誌等の見直しについて、例年通り各教員に調査票をメールで配信する方式で8月に実施することが報告された。教育学部については、完成年度を迎えたことから、来年度以降の雑誌等についてこの機会に見直しを行いたい旨、教員への協力依頼がなされた。

- ③レポート・論文の書き方講座の依頼が増加しており、今年はオンラインで実施することになったが、評判が良かった感触を得ていることが報告された。
- ④4月～6月の活動及び統計報告がされた。

10月26日(月)10:00～10:40

- ①2021年度図書館雑誌及びデータベース等の継続・新規購入について報告された。
- ②継続中雑誌の保存期間について、永年、10年、5年、3年と区分することとした。書籍の処分は、除籍と同様にリサイクル図書を行い、引き取りがなかった書籍を処分することとした。
- ③2020年度後期学科別学生用図書の選定について、現時点での選定状況を示し報告がなされた。
- ④新型コロナウイルス感染症対策について、大学の方針に従って運営しており、後期より通常開館している。一般の入館禁止、座席の減少、視聴覚コーナーの禁止等一部制限があることが報告された。
- ⑤7月～9月の活動及び統計報告がされた。
- ⑥読書月間について、初めての試みとして、学生向けにお勧め本をFoamsで呼び掛けたところ、予想以上の回答が寄せられたことが報告された。
- ⑦除籍本の譲渡について、除籍候補リストの公示連絡だけでなく、譲渡のタイミングにも教職員に連絡してほしいとの要望がなされ、実施することとした。
- ⑧今後の予定について、12月にクリスマス企画をしているが、今年はコロナ禍であることから縮小開催を予定している旨が報告がなされた。

1月25日(月)10:00～10:45 オンライン委員会

- ①新型コロナウイルス感染症対策について、大学のレベル変更に伴いその対応に当たったことが報告された。図書館としての活動制限指針も見直し、今後もそれに準じた対応をとる。
- ②10月～12月の活動及び統計報告がされた。
- ③読書月間について、様々な企画及び展示を行い、図書館を知ってもらういい機会になったと報告された。今後は、より大学図書館に相応しい企画も取り入れて実施したいと抱負が述べられた。
- ④今後の予定について、春休みに新しい配架をする予定であることが報告された。
- ⑤学生11名による図書館サークル同好会(顧問：藤江玲子准教授)が12月に立ち上がったことが報告された。図書館としては学生の活動を応援したいと伊東委員長から意見がなされた。
- ⑥広報活動について、除籍本の案内を来年度も継続してほしい。また、郵送貸出しが可能なことを再度、学生に周知してほしいと委員から要望がなされた。

3) 事業・活動内容

- ①図書館運営・サービスの方針及び計画の審議
- ②図書館利用の促進
- ③学科別図書の選定及び取りまとめ
- ④雑誌・データベースの購読・契約に関する審議

4) 図書館サービス・図書館利用促進業務

①2020年度利用実績

開館日数	延べ利用者数	貸出者数	貸出冊数	視聴覚資料閲覧
230日	20,608人	2,178人	4,922冊	26人

②図書館オリエンテーション・ガイダンス

- ・4月実施のオリエンテーション・ガイダンスは中止となったため、資料を郵送配布資料：2020年度図書館利用案内、図書館だよりNo.59、OPACの使い方
- ・教育学部1年：5月27日(水)2限「図書館オリエンテーション」(オンライン)
- ・例年4月基礎ゼミの時間に開催している新入生図書館ツアーを夏休みに実施(申込み制)

9月7日(月)～11日(金)：参加者19名
館内案内(20分)、OPACの使い方、DB・電子書籍の案内(20分)、謎解き(20分～)

・ゼミナール別図書館ガイダンス

各自問題を解いて館内を回る体験型のガイダンスを実施

[短大1年]水曜2限

10月7日(水)伊東、10月14日(水)伊東

[総経1年]火曜2限

10月6日(火)鈴木、10月13日(火)佐藤、10月20日(火)田中正、10月27日(火)小林

[スポーツ1年]水曜4限

10月14日(水)岩間・伊藤・山本、10月28日(水)上野・丸山

③開館時間(新型コロナウイルス感染症活動制限レベルによる対応)

[通常・レベル1～2]

開館9:00 閉館20:30(土曜日17:00)／長期休業中の閉館は19:00(土曜日17:00)

[レベル3]

開館9:00 閉館19:00(土曜日休館)／長期休業中の閉館は17:00(土曜日休館)

[レベル4]

開館9:00 閉館17:00(土曜日休館)／長期休業中の閉館は17:00(土曜日休館)

[レベル5・6]

閉館(土曜日休館) 館内利用は授業等の状況による

④データベース関連

2020年度利用の有料データベース及びびEジャーナル

①国立情報学研究所データベース、②JDreamⅢ、③医中誌web、④メディカルオンライン、⑤信濃毎日新聞記事検索、⑥第一法規法情報、⑦ジャパンナレッジLib、⑧日経テレコン、⑨日経NEEDS - FinancialQUEST、⑩Eジャーナル(9タイトル、1パッケージ)

新型コロナウイルス感染症対応として一部データベース、電子書籍について外部アクセスの設定を依頼。

⑤学外者利用サービス提供

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学外者の利用サービスは停止した。

⑥図書の充実・整理

2020年度受入図書数

図 書		ビデオ	CD	DVD	デジタル資料
和：3,620	洋：47	0	1	97	2
全： 3,667					

和雑誌	洋雑誌
408	34

⑦蔵書点検

6月8日(月)～19日(金) 2020年度点検対象資料：図書館配架の和書、洋書、視聴覚資料

作業期間中は開館とした。

⑧学生利用促進企画

a) 新型コロナウイルス感染症対応として「松本大学図書館活動制限指針」を作成し、対応(開館時間短縮、郵送貸出、返却期限の延長、電話やメールでの対応、視聴覚コーナーの利用制限等)した。

b) 新入生にOPAC仮パスワードをメール配信：4月13日(月)

設定方法については新入生オリエンテーションで配布予定だった資料を郵送しており、資料を見ながら各自設定するようにした。

c) 授業サポート

[オンライン]

- ・教育学部1年：7月2日(木)2限「第9回ICTと情報倫理」
- ・人間健康学部1年：7月7日(火)2限「第9回ICTと情報倫理」
- ・教育学部1年：7月23日(木)2限「第11回ICTと情報倫理」
- ・人間健康学部1年：7月28日(火)2限「第11回ICTと情報倫理」+図書館紹介
- ・観光ホスピタリティ学科1年：7月21日(火)2限「レポートの書き方講座」+図書館紹介
- ・司書課程：1月28日(木)5限「図書館基礎特論」

[対面]

- ・教育学部1年：12月2日(水)・9日(水)1限「レポートの書き方講座」
- ・司書課程：2月1日(月)～3月1日(月)「図書館基礎特論」

d) 県内7短大連携企画、おすすめ本の紹介「隣は何を読む人ぞう」第39号～42号発行

県内7短大の学生・教職員・司書が毎号テーマに沿ったおすすめ本を紹介する。

e) 読書スタンプラリー実施(参加人数1名、レポート数1枚)、2021年度より廃止

f) 読書月間：11月2日(月)～30日(月)

『空想図書館—みんなはじめはこどもだった—』

- ・学生・教職員による本の紹介「おすすめの1冊」
- ・展示：i)「注文の多い童話展」
ii)「あなたの推し本を教えてください」
- ・企画：i) 謎解きゲーム 月間中の参加者42名、クリア者9名(12月18日(金)まで延長)
ii) リサイクル図書市 除籍した資料を学生、教職員に無料で譲渡
iii) あなたの推し作家・推し本を教えてください!

Formsを利用して学生に好きな作家、おすすめの本をアンケート調査し、集計結果を掲示、コメントを冊子にまとめた。希望の多かった本を購入した。

g) 卒論貸出

- ・図書の貸出期間を1ヵ月とし、1回貸出延長可。雑誌の貸出期間は2週間。
- ・貸出冊数は通常の貸出冊数とは別に5冊まで、利用申請は随時受付。
申請者43名(スポーツ：根本ゼミ6名、等々力ゼミ5名、岩間ゼミ4名、新井ゼミ・丸山ゼミ・中島節ゼミ各2名、総経：清水ゼミ3名、観光：今村ゼミ1名、教育：佐藤ゼミ2名、今泉ゼミ・羽田ゼミ・澤柿ゼミ・濱田ゼミ各1名、短大：中山ゼミ10名、糸井ゼミ2名)図書150冊・雑誌2冊貸出

h) 延滞者督促メール配信、督促状配布

[通常]

月に1度、1ヵ月延滞者、2ヵ月以上超過の学生にメール配信。年に4回、2ヵ月以上超過の学生にゼミ担当より督促状を手渡ししていただく。総合経営学部については、学籍番号で図書館への呼出の掲示。卒業生には返却が確認されるまで年に1回、4月末を目安に実家宛に督促状を送付。4回経過しても返却されなければ除籍とする。

[今年度]

前期は学生の入構が原則立入禁止となり、返却期限を延長したため該当者なし。長期延滞者の返却期限の延長は行わなかったが、入構禁止のためメール配信の実施はなし。10月～2月は延滞者督促メール配信再開、督促状手渡しは11月に1回実施。

i) 本の展示

就活関連、映画・ドラマの原作本、直木賞・芥川賞受賞作、本屋大賞、守先生の紹介する本(DOHC)、おうちDE何する?、元気が出る本、学長著作関連本等。また、閲覧机にミニ展示台を置き、新聞や雑誌で紹介された本を展示。

j) ブクログに本の紹介文アップ(読書月間時の本の紹介、司書科目受講生の紹介する本)

企画展示や毎月の新着図書の様子が分かるよう、一部登録した。

k) ツリーの展示：12月1日(火)～

図書館サークル同好会がツリーの搬入、飾り付けを実施。

⑨ 図書館広報関係発行物

「図書館利用案内2021」

「図書館だより」No.59～61(学生向け)

「図書館要覧2020年度版」

⑩ 信州共同リポジトリ

松本大学研究紀要第18号、地域総合研究第21号Part1、教育総合研究第4号、4号別冊をアップ

2020年度の閲覧回数：39,458回、論文等のダウンロード数109,847回

3月26日(金)：2020年度信州共同リポジトリ年度報告会(オンライン開催)

5) 資料・設備等の整備・管理業務

(1) 資料の整備

① 受入停止、受入継続中の雑誌保存期間の決定、保存期間外の雑誌については除籍をした。

② 除籍雑誌の譲渡

9月と3月に教職員、学生の希望者を対象に譲渡を行った。一部除籍雑誌については6号館保管とし、管理は健康栄養学科に一任した。

③ 1階雑誌再配架

配架順は、洋雑誌をABC順、和雑誌を分類ごとの五十音順とした。

④ レポート課題調査・課題図書

後期に教員と非常勤講師に調査し、お知らせいただいた図書はコーナーに設置。

⑤ シラバス掲載図書

通年・前後期と色分けをした「シラバス」シールを貼付し配架。

⑥ 学科選定図書

前期と後期で実施し、別置して展示した。

⑦ 紀要電子化調査

機関リポジトリやWEB上で公開されているものを調査し、公開されているものは除籍した。

⑧ 棚担当ごと資料の見直し、面出し

⑨ 雑誌最新号にマガジカバーを取り付け、「最新号」シール貼付

⑩ カビが発生した洋書コーナーの図書の拭き取り、除籍

⑪ 就職コーナー

例年通りキャリアセンターと同資料を購入、配架。旧版はプレゼント本にした。

⑫ 教員著作コーナー

本学教員の著作について2017年より出版されているもの(共著・単著)を展示した。

⑬ 研究科大学院博士課程開設前年度の資料受入、装備、配架

(2) 設備の新設・更新

① 新型コロナウイルス感染症対策として、座席の削減(使用させない座席については「使用不可」表示)、グループ学習室の利用禁止、館内カウンターと閲覧席に飛沫防止シート、アクリル板を設置。

② 情報館メンテナンス：7月29日(水)リモート対応

③ 1階洋書コーナーの書架数ヶ所に除湿剤設置、湿度やカビの発生状況を観察

④ 入退館ゲート定期点検(年2回)：9月9日(水)・3月24日(水)

⑤ 洋書コーナーカビ菌検査：11月13日(金)

⑥ 貸出ノートPC用に外付けDVDプレイヤー3台購入

⑦ 視聴覚コーナー椅子の入替11台

⑧ カウンター内パソコン5台入替

- ⑨IC証切替に伴うIOゲートの切替作業・更新：3月17日(水)～22日(月)
- ⑩IC証切替に伴う情報館システム切替作業：3月19日(金)
- ⑪IC証切替に伴う入退館ゲートのシステム切替作業：3月22日(月)
- ⑫IC証読取りカードリーダー増設(2台から3台へ)
- ⑬入退館ゲートのパソコン入替

6) 教職員サポート業務

①図書購入・図書費の管理

2020年度研究図書費実績

単位(円)

	学科	図書費	新聞雑誌費
総合経営	総経	640,141	701,400
	観光	492,135	909,620
人間健康	栄養	43,630	136,401
	スポーツ	151,717	543,181
	研究科	379,614	656,502
教育	教育	958,073	1,188,831
短大	商学	41,647	658,958
	経情	120,988	205,162
合計			7,828,000

職員図書費	115,306
-------	---------

②図書・研究資料検索等

他機関からの資料取り寄せほか実績

文献複写 (依頼)	文献複写 (受付)	相互貸借 (借受)	相互貸借 (貸出)	紹介状発行	国立国会図書館 デジタル化送信サービス
190	16	38	0	0	15

7) 総務的業務・他機関との連携

①調査等への回答

6月15日(月)：日本図書館協会・図書館調査票提出(データ送信)

11月20日(金)：朝日新聞出版社「大学ランキング」調査回答

10月27日(火)：文部科学省2020年度(令和2年)学術情報基盤実態調査—大学図書館編—回答

②規程類整備

「松本大学図書館情報機器利用規程」改訂。2020年8月1日施行。

「松本大学図書館規程」改訂。2020年4月1日施行。

「松本大学図書館運営委員会規程」制定。

③その他

長野県図書館協会副会長(館長)

3月25日(木)：令和2年度長野県図書館協会常務理事会

10月16日(金)：第70回長野県図書館大会

長野県図書館協会大学専門図書館部会研究会会長(館長)

8) 職員研修

①学外研修

- 7月16日(木): 長野県図書館協会大学専門図書館部会研究会(オンライン開催)
- 9月11日(金): 長野県図書館協会大学専門図書館部会夏期研修会(オンライン開催)
- 10月16日(金): 第70回長野県図書館大会専門図書館部会分科会(オンライン開催)
- 3月24日(水): 長野県図書館協会大学専門図書館部会研究会(オンライン開催)

9) その他

「松本大学古本募金」プロジェクトへの協力

(6) 国際交流センター運営委員会

1) 委員会開催

2020年度の委員会は、5月、6月、7月、9月、11月(メール審議)、1月、3月(メール審議)の合計7回開催した。構成委員は、教員7名、職員2名である。国内外の新型コロナウイルス感染症の蔓延により留学に関わる一切の活動が停止・縮小・延期となったため、委員会での審議内容の多くは日本人海外留学生の帰国後の対応や、交換留学生の入国に関する審議が中心となった。

2) 業務報告

①授業料減免審査

前期の留学生4名の授業料減免審査の面接を実施。本年度申請のあった留学生には、国際交流センター委員による面談の結果、全員が授業料半額の減免対象となった。後期は新生を含め6名が減免の対象となった。

②国際交流活動寄付金

株式会社村瀬組より海外留学や国際交流の目的で50万円の寄付贈呈があり、学長より感謝状を贈呈した。国際交流センターでは、日本人の海外留学支援として村瀬組海外留学奨学金として一人当たり5万円以上の補助を予定していたが、本年度は海外留学がすべてキャンセルになってしまったため、当該寄付金は使われないまま次年度への持ち越しとなった。また、例年行われている松本大学同窓会からの海外研修支援も同様に行われなかった。

③海外留学(5名)

2020年4月から2021年3月まで海外に滞在した日本人留学生は合計5名であった。全員心身ともに健康で帰国した。帰国にあたっては、入国時に2週間の自主隔離をした学生もおり、国際交流センター職員が日々の連絡、サポートを行った。本年度海外留学をした学生の内訳は以下の通りである。

- a) 総合経営学部観光ホスピタリティ学科4年女子1名、中国河北大学留学。2019年9月～2020年7月(10ヵ月)、長野県国際課の派遣員として留学
- b) 教育学部4年女子2名、オーストラリアニューカッスル大学、2020年2月～12月(10ヵ月)、オーストラリアンカソリック大学、2020年2月～12月(10ヵ月)
- c) 教育学部2年男子1名、ブラジル語学学校、2020年3月～9月(6ヵ月)
- d) 松商短期大学部2年女子1名、台湾義守大学、2020年2月～2021年2月(1年)

④外国人留学生(8名)

本年度の松本大学及び短期大学部への外国人留学生は合計8名であった。内訳は以下の通りである。

- a) 総合経営学部総合経営学科2名、中国出身
- b) 総合経営学部観光ホスピタリティ学科1名、中国出身 (2021年3月除籍)
- c) 人間健康学部スポーツ健康学科1名、中国出身 (2021年3月他大学編入のため、自主退学)
- d) 大学院健康科学研究科1名、ドミニカ共和国出身 (2020年12月～2023年3月)
- e) 松商短期大学部3名、韓国、中国、ベトナム出身

⑤交換留学生・科目等履修生（2名）

2020年度の交換留学生は、本来11名を予定していたが、2019年9月に来日した台湾義守大学からの学生2名（2019年9月～2020年8月）のみであった。新型コロナウイルス感染症の影響で、授業は5月よりオンラインに切り替わり、通常の留学生生活を送れない状態であったが、日本語も上達し帰国時には1年間の振り返り報告会にて感想を述べてもらった。

韓国東新大学・中国嶺南師範大学・台湾義守大学からの交換留学生は、2021年度の来日に延期となった。新型コロナウイルス感染症による国の入国制限の状況をもとに、2021年度からオンラインでの受講に変更となった。

⑥学生支援緊急給付金等経済支援

国が行う学生支援緊急給付金について、9月に全留学生7名に対して10万円が支給された。また、11月には日本学生支援機構より、留学生に対する学習奨励費特別追加給付金が2名分配分され、成績基準を満たす学部生1名、短期大学部学生1名の留学生に48,000円が給付された。松本市人権・男女共生課から留学生あてに60キロのお米の寄贈があり、全留学生に届けた。

⑦留学生寮

二つある国際寮のうち、新村国際寮は木造建築後55年を経過し老朽化しており、冬期の暖房設備が不十分であることから、2021年9月に契約を解除することとなった。新規アパートへの居住者については、留学生の要望や意向を配慮、確認した上で選出することとなった。

⑧日本語スピーチ、作文コンテスト

松本ワイズメンズクラブ主催による日本語作文コンテスト「アジア賞」の授賞式が12月に行われ、国際交流センター委員の中村准教授が出席した。人間健康学部スポーツ健康学科所属の留学生が審査員特別賞を受賞した。

⑨国際交流クラブ

11月には国際交流クラブ主催の台湾義守大学と韓国東新大学とのオンラインでの学生交流会が開催された。海外留学がかなわない中、提携校の学生との日本語での近況報告がなされ、提携大学からの謝意が寄せられた。

3) 活動報告

- 4月24日 株式会社社村瀬組より「国際交流のために」との寄付50万円受領。
- 6月24日 松本市人権・男女共生課よりお米60キロの寄付受領。全留学生に配布。
- 7月22日 台湾 義守大学からの2名の交換留学生の送別報告会実施。住吉学長、国際交流センター運営委員他11名出席。
- 8月3日 長野県日中学術交流委員会総会に益山委員長出席（長野市・ホテル信濃路）。
- 11月26日 東新大学国際交流センターとのオンライン会議。
- 12月12日 アジア賞日本語作文コンテスト授賞式に中村委員出席。
人間健康学部1年の留学生が審査委員特別賞を受賞。
- 12月14日 ドミニカ共和国出身の大学院健康科学研究科留学生の入国支援。

(7) インターンシップ推進委員会

1) 委員会開催

10月13日(火)

- ・キャリアセンターより、松本大学インターンシッププログラムの概要、発足から今年度までの流れが説明された。そのうえで、2021年度のプログラム実施について審議した結果、実施の方向で準備を進めていくことで承認された。その中で、新型コロナウイルス感染症の影響によりインターンシップがオンラインとなった場合や、日数が5日間未満となった場合の単位認定についても問題提起がなされ、プログラム内容を見て審査することや、1単位化することなど様々な意見が表明されたが、協力企業の状況を精査

し、継続審議となった。

- ・キャリアセンターより、2021年度のスケジュール案が示され、大まかな流れが説明された。審議の結果、スケジュール案の通り進めていくことで異議なく承認された。
- ・キャリアセンターより、既存企業へのアンケート調査について説明がなされ、実施方法・内容について審議した結果、異議なく承認された。
- ・来年度に向けた新規企業の開拓を行うべきかどうかについて、審議の結果、既存先の受け入れ状況を見ながら無理のない範囲で新規開拓を行うことで承認された。

12月22日(火)

- ・キャリアセンターより、既存企業へのアンケート結果について報告がなされた。56社中48社から回答があり、受入可能が21社、検討中が20社、受入不可が7社となったことを踏まえ、2021年度の松本大学インターンシップの実施について再度審議がなされ、日数はこれまで通り5日間とすることや、オンラインでの実施を認めその内容は問わないことが確認された。また、5日未満となる企業について、希望する場合はキャリアセンターを窓口として学生とのマッチングを行うことも併せて確認された。
- ・キャリアセンターより、スケジュール案が示された。前回の委員会で承認された通り、2月に企業へプログラムの作成を依頼し、3月に学生向けの募集要項を作成し、4月に開講という流れで実施することが改めて確認された。なお、入学前セミナーの実施がなくなるため、短期大学の学生への周知方法については継続審議となった。
- ・アンケートの結果を踏まえ、新規企業の開拓について審議がなされ、インターンシップの新規開拓のみを目的とした企業訪問は行わず、採用のお礼や挨拶回りなどの企業訪問の際にインターンシップの紹介を行い、新規開拓に努めることが承認された。また、松本商工会議所へのアポイントについては今年度も実施することが併せて確認された。

3月31日(水)

- ・キャリアセンターより、企業の受け入れ状況について報告がなされた。依頼した57社中34社が受け入れ可能となっており、受入可能人数の合計が101名であることが報告された。併せて4月以降の具体的なスケジュールや募集要項等の資料についての説明がなされ、審議の結果、原案通りで進めていくことが承認された。また、PCR検査等が必要な場合は、今期は交通費と同様に学生の自己負担としその旨を募集要項に記載すること、また、短大生のマッチングについては短大部で一度面接を行ったうえで参加が認められた学生をマッチングすることなどが併せて確認された。また、課題として短大生への周知予定日が履修登録締切日となっていることから、関心のある学生は必ずその日中に履修登録をするよう強調することが併せて確認された。
- ・キャリアセンターより、松本大学インターンシッププログラム以外の公務員インターンシップについて、昨年度に引き続きキャリアセンターを通じて参加学生を募り、選抜の上派遣することが提案され、審議の結果、異議なく承認された。スケジュールについて、可及的速やかに取りまとめ、学生が余裕をもって参加できるよう配慮することが要請された。
- ・キャリアセンターより、松本山雅における長期インターンシップについての説明がなされ、交通費の負担や学業との両立等諸所の課題はあるものの、実施の方向で進めていくことが提案され、審議の結果、異議なく承認された。
- ・キャリアセンターより、就職を目的としたインターンシップとのすみ分けとして、長期インターンシップの導入や、低学年も履修可能とするなど、今後の方向性を必要に応じて検討していくことが提案され、審議の結果、異議なく承認された。

2) 事業活動

- ①年度内の松本大学インターンシップ派遣先企業0社(新型コロナウイルス感染症の影響による)
- ②年度内の松本大学インターンシップ派遣学生数0名(新型コロナウイルス感染症の影響による)

B：学生支援

(1) 全学就職委員会

1) 委員会開催

4月27日(月)

- ・2020年度年間予定につき、各行事の実施方法等について審議がなされ、基本的に対面ではなくオンラインにより実施することを条件に承認することとした。インターンシップフェア、夏季就職対策講座、保護者就職説明会、キャリア面談については今後検討することとした。
- ・学部3年生を対象とするSPI対策の取り組みについて、基礎教育センターと連携しテキストに沿った学生支援の必要性が提起され、基礎教育センターへ連携を要望すると共に、今後具体策を検討することとした。
- ・前年度の就職内定状況が報告された。
- ・4月上旬に実施した就職活動状況のアンケート集計結果が報告された。
- ・学生が登校禁止となっている現状を踏まえ、学内企業説明会や求人情報の提供などキャリアセンターが実施しているWebやSNSを通じた就活支援の取り組みが報告された。また、異例の形で就職活動の時期を迎え不安を抱えた学生が多いことから、各学部のゼミ・クラス担当教員を通じて学生のヒアリングを実施する予定であることが報告された。
- ・学部3年生対象のキャリア関連講義予定が報告された。
- ・今年度の学内単独企業説明会の参加状況、及び今後の予定が報告された。

6月4日(木)

- ・前年度の最終的な就職内定率が示され、審議の結果、承認された。
- ・学部4年生・短大2年生を対象とする対面による就職支援講座の計画案が示された。審議の結果、学部の実施については継続審議とし当面は開催を見送ることとした。また、短期大学部は授業の一環として6月27日に開催することが報告された。
- ・学部3年生・短期大学部1年生のインターンシップ参加を促進するための企画として、オンラインによる説明会の開催案が示され、審議の結果、承認された。
- ・例年8月に実施している進路未決定者対象のキャリア面談に代えて、学生の個別支援を前倒しして実施する対応案が示され、審議の結果、承認された。
- ・学部3年生対象の就職対策講座概要が示され、審議の結果、開催に向けて計画を進めることが承認された。
- ・学部3年生・短期大学部1年生の保護者就職説明会開催について検討を行った。今年度は対面での開催はせず資料を送付することとし、それに伴い資料作成に着手することが要請された。また、オンラインによる説明会の開催については、プログラム等を含めて今後検討することとした。
- ・今年度の就職内定状況について各学部から報告がなされた。
- ・キャリアセンターによるオンラインを通じた就職支援の現状、及びそのメリット・デメリットについて報告がなされた。支援内容によってはオンラインでの就職支援が学生・職員双方にとって有益な場合があり、次年度以降にも活かしたいことが報告された。

7月7日(火)

- ・保護者就職説明会について、全体会としては資料の郵送のみとする実施案が示され、審議の結果、承認された。必要に応じて別途学部別で説明会を開催する可能性があり、教育学部と短期大学部はオンライン形式での実施案を含めて、今後検討する予定であることが報告された。
- ・キャリア面談について、オンラインで実施する予定案が示され、審議の結果、承認された。
- ・各学部の就職内定状況が報告された。
- ・ハローワーク共催の就職活動支援講座が8月18日に開催予定であることが報告された。就職活動を振り返る機会にすると共に、活動が滞っている学生をはじめとする支援内容を予定していることが報告された。
- ・条件付きで後期授業が対面で行われる予定であることを踏まえ、後期の就職支援ガイダンスを実施することが報告された。

9月2日(水)

- ・学部の就職支援ガイダンスについて、審議の結果、教室を確保して学生が受講できる体制を整えることを条件に承認された。
- ・10月以降に開催予定の企業業界研究勉強会の実施運営方法について、オンラインで実施する予定であることが示され、審議の結果、承認された。
- ・成績証明書にGPAを記載することについて説明及び審議がなされた。審議の結果、教員間・科目間における成績評価基準の平準化、学生・保護者・企業に対する説明などの取り組みを要請することを踏まえて、承認することとした。また、今後のロードマップの必要性についても提起された。
- ・就職内定率の報告に基づき、内定状況及び就職活動を取り巻く状況などについて報告及び意見交換がなされた。
- ・今年度開催した学内企業説明会の参加状況、及び直近の説明会開催予定が報告された。今後、学生の就職活動支援を更に強化するため、学内企業説明参加を促進することが要請された。
- ・前期に開講した学部3年生対象のキャリア支援科目、及び短期大学部1年生対象の就職支援ガイダンス終了時のアンケート結果が報告された。
- ・2020年3月卒業生(松本大学)を対象に実施した卒業生アンケートの結果が報告された。併せて2020年3月卒業生(松本大学及び松本大学松商短期大学部)の入社企業等を対象に実施した進路先アンケートの結果が報告された。

10月2日(金)

- ・採用をいただいている企業をはじめとする人事担当者を対象に「大学キャリアセミナー」を12月10日に開催する案が示され、審議の結果、承認された。
- ・今年度の健康診断は検診項目を大幅に見直すため、通常健康診断証明書の発行が見送られることになった。その件についての学生及び企業への連絡文書案が示され、審議の結果、承認された。
- ・今年度開催予定の学内合同企業説明会の実施方法について審議が行われた。合計3日間の開催を予定しているが、体育館を会場とする案と教室を会場とする案が示され、継続審議することとした。
- ・就職内定状況が報告された。教職員が協力して学生支援及び企業訪問の充実を図ることができるよう、各学部の就職委員会で検討して欲しいことが併せて要請された。
- ・学内個別企業説明会の予定が報告された。
- ・10月12日から開催される企業・業界研究勉強会の概要が報告された。
- ・各学部から保護者就職説明会の予定と概要が報告された。
- ・7月下旬から8月上旬にかけて実施された進路先アンケート(本学卒業生が2020年4月に入社した企業)及び卒業生アンケート(2020年3月に卒業した学部生)の結果について報告及び説明がなされた。

11月2日(月)

- ・学内合同企業説明会の会場を教室とする案が示され、審議の結果、承認された。
- ・今年度の年間予定に準じた形で、今後日程を検討することが報告された。
- ・2021年度入学前セミナーの見直しに伴い、新入生キャリア面談の位置付けや実施時期の検討案が示され、継続審議することとした。
- ・1月9日に予定していた就活対策講座を実施しない予定とする案が示され、審議の結果、承認された。
- ・就職内定状況が報告された。
- ・企業・業界研究勉強会の申込み、及び参加状況が報告された。
- ・新型コロナウイルス感染防止の観点から、これまで学内で実施していた証明写真撮影は行わず、学生各自が写真館で撮影することが報告された。それに伴い、ガイダンスの中で業者の紹介を行うことが報告された。
- ・12月10日に開催予定の企業向け大学キャリアセミナー(ZOOMウェビナー)の参加申込状況が報告された。

12月2日(水)

- ・学内合同企業説明会の実施計画案について説明がなされ、審議の結果、承認された。

- ・継続審議であった20年度のキャリア面談について、新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえた具体的な計画案が示され、審議の結果、承認された。
- ・次年度年間予定案が示され、審議の結果、承認された。22卒対象の合同企業説明会については、20年度と同内容で計画し、4月～6月、月1回実施する予定である。23卒対象の夏季就職対策講座、キャリア面談、合同企業説明会等については今年度と同様であるが、状況に応じて再度検討していく。
- ・就職内定状況が報告された。
- ・12月10日実施予定の「企業向け 大学キャリアセミナー」の申込状況について報告がなされた。
- ・本年度新たに作成した保護者向け冊子「保護者のための就活ガイド」が示された。また、各学部の対応について報告がなされた。

1月5日(火)

- ・23卒に向けた就職手帳について、より内容を充実させるため、リクナビの就職手帳を導入すること、本学独自の就職手帳「M」については、オリジナル部分とマナーブックを統合した小冊子として作成、配布することが提案された。方向性については異議なく、学科等で意見を集約することとした。
- ・入学前キャリア面談の代替として基礎ゼミでの面談を依頼している件について、ヒアリングシート案が示された。運用や活用方法については、学部学科や教務委員会にも判断いただくこととした。
- ・全学の就職内定状況について報告がなされた。
- ・内定承諾書提出後の辞退について、後期に3件の辞退があったことが報告された。内定承諾書の捉え方、キャリアセンターからのアナウンスについて改めて共有がなされた。
- ・来年度も、内定企業を対象に企業向けアンケートを実施する予定であることが報告された。
- ・企業・業界研究勉強会の参加実績について報告がなされた。
- ・内定学生による「先輩学生トークセッション(オンライン)」の開催を1月に予定していることが報告された。
- ・2月の合同企業説明会参加予定企業について報告がなされた。
- ・大学キャリアセミナーのアンケート結果について報告がなされた。

2月2日(火)

- ・22卒就活について、早期化そして採用数の減少が見込まれていることが報告された。改めて学部学科、ゼミ担当教員から学生へ密な連絡及び支援を依頼することとした。
- ・2月分学内合同企業説明会は、オンライン開催(ZOOM)することが承認された。なお、3月、4月については状況をみて改めて判断する。
- ・3月に実施する学部2年生のキャリア面談は、オンライン開催(Teams)することが承認された。
- ・2021年度年間予定について、6月の学内合説は内定状況、新型コロナウイルス感染症の感染状況をみて、実施日・方法を改めて判断すること、学部の保護者説明会は例年通り10月30日に一旦予定し、新型コロナウイルス感染症の感染状況をみて、改めて判断することが承認された。
- ・就職内定状況が報告された。
- ・1月に実施したオンラインによる内定学生トークセッションについて報告がなされた。
- ・学内合説に参加しない企業によるWEB個別企業説明会の予定が共有された。
- ・2021年度学部3年生の前期及び後期のキャリア支援授業・ガイダンス内容案について説明がなされた。また、PROGテストの今後の活用方法についても検討していくこととした。
- ・学生から必要とされている情報はゼミ担当教員からも収集し、キャリアセンターで収集していくこととした。必要に応じてLINEなどで学生に配信していくこととした。

3月4日(木)

- ・今年度の総括についてPDCAの視点から報告がなされた。
- ・就職活動が事実上本格化する2月・3月に向け、学業との両立ができるよう、この時期の集中講義や実習科目のスケジュールを可能な範囲で検討することを教務にも働きかけていくこととした。
- ・入学前キャリア面談の代替として基礎ゼミでの面談を依頼している件について、ヒアリングシート案が示された。運用や活用方法については、教務委員会に判断を要請することとした。

- ・全学の就職内定状況について報告がなされた。
- ・2月に行われたWEB合同企業説明会参加企業の予約状況が報告された。
- ・3月16日に予定している合同企業説明会について、対面にて行うこととし、参加企業一覧が報告された。
- ・今後予定している個別企業説明会について報告がなされた。
- ・学部の在学学生オリエンテーション時間割について報告がなされた。

2) 事業活動

①年度内の求人受理

受理事業所数：12,064事業所

②学内合同企業説明会の開催

オンライン：2月19日、20日、22日、24日

対面：3月16日

③保護者就職説明会の開催

新型コロナウイルス感染症拡大のため資料を郵送した。

なお、教育学部のみ(11月27日)対面にて実施。

④キャリア面談の実施

学部2年生対象：3月、学部3年生・短期大学部1年生対象：2021年2月

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新入生対象は中止とした。

⑤インターンシップ参加支援

松本大学インターンシップ事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新入生対象は中止とした。

信州産学官インターンシップ：参加学生総数6名

⑥学内企業単独説明会開催

開催回数：計102回

⑦学生向け各種支援講座の開催

夏季就職対策講座、公務員仕事理解セミナー、教員OB・OGトークセッション、企業・業界研究勉強会

3) 全学委員会及び各学部の部会開催

全学就職委員会	4/27(月)、6/4(木)、7/7(火)、9/2(水)、10/2(金)、11/2(月)、12/2(水)、1/5(火)、2/2(火)、3/4(木)
総合経営学部	4/27(月)、9/8(火)、10/27(火)
人間健康学部	9/7(月)、11/9(月)、12/2(水)
教育学部	7/28(火)、9/8(火)、10/5(月)
松商短期大学部	4/10(金)、4/21(火)、4/24(金)、5/12(火)、6/9(火)、7/9(木)、9/8(火)、10/8(木)、11/10(火)、12/8(火)、1/12(火)、2/8(月)、3/25(木)

(2) 全学学生委員会

1) 委員会開催

第1回 4月23日(木)

新型コロナウイルス感染症の対応、学生委員会年間行事予定、経済状況悪化に伴う支援制度、学外指導者(クラブサポーター)等について審議。

日本学生支援奨学金定期採用申込みについて4月17日(金)までの募集で103名の新入生及び在学学生より申込み、引き続き新入生の予約採用者の把握、交通事故1件の報告。

臨時 5月19日(火)

クラブ・サークル活動の再開、学生支援について、「体育施設使用条件」「活動計画申請書」等の手続き方法及び、再開日についての検討。

第2回 6月9日(火)

新型コロナウイルス感染症の対応、第22期経済状況悪化等に伴う修学困難な学生支援追加募集の書類審査、梓乃森祭及び学友会活動、学外指導者(クラブサポーター)申請、クラブ・サークル活動再開等について審議。

「学生支援緊急給付金」募集についての報告。

第3回 7月7日(火)

第23期経済状況悪化等に伴う修学困難な学生支援募集、梓乃森祭及び学友会活動、学生の施設利用についての満足度アンケート実施、学生委員会規定案、8号館ロッカー移動について審議。

新型コロナウイルス対策本部会議報告、課外活動(バレーボール部活動再開)、「学生支援緊急給付金」についての報告。

第4回 9月2日(水)

第23期経済状況悪化等に伴う修学困難な学生支援募集、梓乃森祭、課外活動、ハンドボール部・陸上競技部の学外指導者(クラブサポーター)の申請等について審議。

新型コロナウイルス感染症対策本部会議報告、学生支援給付金についての報告。

第5回 10月13日(火)

スポーツ特待生資格継続審査、梓乃森祭、後期開講後の学生の様子(課外活動・施設利用等)、女子バスケットボール部、バレーボール部、ダンス部の学外指導者(クラブサポーター)の申請等について審議。

第23期経済状況悪化等に伴う修学困難な学生支援審査結果、学長賞受賞者、交通事故2件、第1体育館使用方法等についての報告。

第6回 12月1日(火)

クラブ・サークル活動制限レベル引き上げ、クラブ・サークルの部長(顧問)の選定方法、学生の様子(課外活動・施設利用等)テコンドー部の学外指導者(クラブサポーター)の申請等について審議。

卒業アルバム制作、日本学生支援機構奨学金返還説明会及び適格認定説明会開催、交通事故2件、部活動中の事故1件等についての報告。

第7回 1月22日(金)

第24期経済状況悪化等に伴う修学困難な学生支援制度募集、施設利用アンケート実施、学生の昼食会場、クラブ・サークルの部長選定、障がい学生に対する支援等について審議。

クラブ・サークル活動制限レベル引き上げ、1件の交通事故等についての報告。

第8回 3月2日(火)

第24期経済状況悪化等に伴う修学困難な学生支援制度募集、スポーツ特待生資格継続審査、クラブ・サークル部長選定、強化部・重点部の指定継続審査、フットサル部学外指導者(クラブサポーター)の申請等について審議。

男子サッカー部コーチ就任、部活動中の事故1件等についての報告。

2) 新型コロナウイルス感染予防

4月1日

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から当面の間、クラブ・サークル活動については、強化部・重点部以外の活動は全面中止を通知。

4月2日

大学への登校について一律に禁止し、自主的な学修機会を制限するものではないが、原則として控え、指導する教職員と相談のうえ登校する旨を通知。

5月1日

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学生の外出の自粛、原則構内立ち入り禁止、部活動の自

肅などを通知。

5月26日

緊急事態宣言解除に伴う新たな措置、許可された者は一定の条件の下で入構許可、授業開始前までの県内への移動依頼、通信環境悪化によりオンライン授業が受けられない学生への大学での受講許可等について通知。

9月24日

学生食堂利用、昼食時の指定教室について通知。

9月25日

学内に留まらなければならない学生の対応について通知。

9月28日

学生食堂、昼食指定教室の衛生管理指導開始。

11月20日

新型コロナウイルス感染拡大のための、感染警戒レベル引き上げに伴う学生生活見直しの通知。

2月18日

クラブ協議会「代表者会議」を開催。

3) 学生支援（奨学金、授業料免除等経済的支援を含む）

4月20日

県外出身学生の動向確認。東京・神奈川・埼玉・千葉・大阪・兵庫・福岡・北海道・石川・岐阜・愛知・福井・京都・香川及び長野を除く県の出身学生についてゼミ担当教員による確認依頼。

5月1日

日本学生支援機構、新型コロナウイルス感染症による家計の急変等に特化した給付型奨学金の申込みを再案内。

「第22期経済状況悪化に伴う修学困難な学生への支援制度」の第2次申込み（特例措置：新型コロナ感染拡大に伴う経済支援）を案内。

5月20日

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う松本市会計年度任用職員（非常勤職員）募集要項の通知。

5月21日

新型コロナウイルス感染症拡大の影響によるアルバイト収入の減少などにより学生生活の継続に支障をきたす学生等を対象とした「学生支援緊急給付金制度（2020年5月19日閣議決定の現金給付支援）」について案内。

6月4日

高等教育の修学支援新制度の給付型奨学金受給者に対する「学生支援緊急給付金」申請の働きかけ。

6月26日・29日・30日

「第22期経済状況悪化に伴う修学困難な学生への支援制度（新型コロナ追加募集）」オンライン面談の実施。

7月6日

「学生支援緊急給付金」2次募集の学生への案内及びゼミ担当教員への周知依頼。

7月15日

「学生支援緊急給付金」2次募集について、本人、保護者への案内ならびにゼミ担当教員への再度の周知。

7月22日

「第23期経済状況悪化に伴う修学困難な学生への支援制度」を案内。

8月28日

「学生支援緊急給付金」2次募集において、採用が一旦「保留」となっていた短期大学部の40名の学生についても、文科省より追加配分の連絡があり、全員採用の見通しとなった。採用は申請した学生全員（学部359名、短期大学部81名、大学院2名）が給付の対象となった。

9月2日

給付型奨学金は4月～9月までの採用者合計が162名となった。

1月22日

「第24期経済状況悪化等に伴う修学困難な学生への支援制度」の案内。

4) 学友会・クラブ活動（新型コロナウイルス感染防止対応を含む）

4月5日

強化部・重点部の活動は、4月6日(月)～4月19日(日)は完全中止とする旨を通知。

6月25日

令和2年度「梓乃森祭」発表・展示について第1次提案依頼。

7月14日

「宿泊を伴う対外的活動(遠征)におけるガイドライン」の通知。

9月15日

「活動制限レベルを踏まえたクラブ・サークル活動」の改訂通知。

10月16日

オンラインを使った学園祭「梓乃森祭」開催。

10月21日

新型コロナウイルス感染症対策助成金交付申請。

10月29日

新型コロナウイルス感染症・感染警戒レベル1になったことに伴うクラブ・サークル活動制限の緩和。

11月5日

新型コロナウイルス感染症・感染警戒レベル2へ引き上げになったことに伴うクラブ・サークル活動制限の再制限。

11月25日

強化部・重点部運営部会を開催し、野球部、サッカー部の強化部指定の継続、陸上競技部の重点部指定の継続、女子ソフトボール部の強化部指定の検討が決められた。

新型コロナウイルス感染症・感染警戒レベル3へ引き上げになったことに伴うクラブ・サークル活動制限の再制限。

1月5日

クラブ・サークル活動における指導の徹底を各クラブ部長に依頼通知。

2月16日

新型コロナウイルス感染症・感染警戒レベル2に引き下げになったことに伴うクラブ・サークル活動制限の緩和。

2月19日

サッカー部コーチ面接の結果、採用を決定。

3月23日

2021年度クラブ・サークル部長の委嘱者決定。